

年報

令和7年度

徳島県立図書館

まえがき

徳島県立図書館は、創立の地・徳島中央公園を離れ、平成2年11月、文化の森総合公園に移転開館して以来、今年で35周年という節目を迎えます。

これまでの来館者数は1600万人を超え、移転前に約55万冊であった蔵書数は170万冊超に、年間5万冊余りだった貸出冊数も50万冊程度に達するなど、現在では全国有数の規模となっています。

35年間を振り返りますと、

- ・ 平日夜間の開館時間延長（平成17年度）や阿波おどり期間中の臨時開館
 - ・ 貸出カウンター運営管理業務の民間委託（平成23年度）による利用者サービスの向上と専門機能の強化
 - ・ 教育委員会から知事部局への移管（令和2年度）
- など、運営面での改革とともに、
- ・ 県内市町村立図書館の拡大に呼応した「とくしまネットワーク図書館システム」の整備と機能向上
 - ・ 電子図書館サービスとしての電子書籍閲覧とデジタルアーカイブ公開
 - ・ バリアフリー資料の充実や郵送貸出サービスの提供
 - ・ 全国の先駆けとなった「雑誌スポンサー制度」の導入（平成21年度）
- など、県内くまなく行き渡るサービスの向上と多様な資料の充実に取り組んできました。

一方で、令和2年には、コロナ禍という予想もしなかった困難に見舞われ、以後、徹底した感染防止対策の中での運営を余儀なくされながら、非来館型サービスの提供にも工夫を重ねました。

また、施設の老朽化が進み、雨漏りの常態化など、利用環境に支障が生じていることから、令和6～7年度にかけて、初めての大規模改修工事を実施し、安全で快適な環境整備に取り組んでおります。工事中は臨時休館・部分開館という形で、利用される皆様には長期間にわたりご不便をおかけいたしました。この年報を手にとっていただく頃には、新しい雰囲気の中で県立図書館をご利用いただけているかと思います。

人々の読書習慣が低下し、身近な書店も姿を消しつつある昨今、公共図書館が地域の読書環境を守るために果たす役割は一層大きくなっていると感じています。こうした中で、今後とも、県民の皆様と資料をつなぎ、「知りたい・調べたい・学びたい」知的欲求に応えることのできる「知の拠点」であり続けられるよう、資料の充実とサービスの向上に職員一同、取り組んでまいりますので、引き続いてのご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和7年6月

徳島県立図書館長 露口 悦之

目 次

I	運営の基本方針	1
	令和7年度重点事業	1
II	令和7年度事業計画	2
	令和7年度図書館予算（当初）の状況	7
	徳島県立図書館資料収集方針	8
	徳島県立図書館資料収集・選定運用基準	10
III	令和6年度事業報告	15
	1 企画振興担当関係	15
	2 調査・郷土担当関係	16
	3 資料・児童担当関係	18
	4 図書館システム関係業務	21
	5 他機関との連携事業ほか	21
	6 諸統計	28
IV	管理	30
	1 組織	30
	2 施設・設備	31
	3 沿革	32
	4 歴代館長	33
V	令和6年度行事記録	34
VI	大規模改修工事と部分開館	42
	データで見る徳島県立図書館の現状	44
	徳島県内市町村立図書館一覧	45
	徳島県立図書館案内図	46
	開館時間・休館日	46
	徳島県立図書館サービス向上目標（第4期）～新たな環境下の県立図書館サービス～	47

I 運営の基本方針

- 1 図書館法と「ユネスコ公共図書館宣言」の理念に基づいて、図書・記録その他の図書館資料を積極的に収集・整理・保存して、地域社会の人々に対する利用に努める。
また、行政資料を含む郷土資料を積極的に収集保存し、県内における資料センターとしての役割を果たす。
- 2 市町村立図書館への援助・協力を行い、市町村立図書館と協力してすべての県民への図書館サービスの充実を目指す。
また、図書館未設置町に対して、図書館の設置を促進し、県内図書館網を充実する。
- 3 県民の読書活動及び図書館利用を促進し、文化の向上に資する。
また、すべての子どもの自主的な読書活動を推進するために、関係機関や団体と連携し、資料の充実と子どもの読書環境の向上に努める。
- 4 公共図書館、大学図書館、学校図書館、試験・研究機関との連携を行い、県民へ資料、情報を提供し、サービスに努める。
- 5 県民の学習、調査、研究、レクリエーションセンター、生涯学習の場として、県下の図書館網の中核施設として位置づける。
- 6 阿波学会等地域の学術研究団体と連携し、地域に関する科学的調査に協力し、学問と文化の振興に寄与する。

令和 7 年度重点事業

徳島県における図書館ネットワークの中核として、広域的な視点でその専門性を活かしながら、県民のニーズや課題に生涯を通じて応えていくとともに、県全体としての図書館サービスの向上を図るため、新たな環境下における非来館型サービスを含む、一歩先の図書館を見据えた「知の拠点」事業を引き続き推進する。

- 1 図書館「知の拠点」事業の実施
「子どもの読書習慣をはぐくむ図書館」「デジタル技術を活用した知的探究を応援する図書館」「市町村立図書館・学校図書館をしっかりとサポートする図書館」「専門性を有する図書館の強化」を目指す。
- 2 県の中核図書館としての図書館資料の収集・整備・提供
 - ・県内外の図書館・関係機関との連携機能の強化
 - ・子どもの読書活動の推進、子どもの本の「資料センター的機能」の充実
 - ・徳島に関する幅広い資料の収集・充実
 - ・地域資料のデジタル化の推進、「デジタルアーカイブ閲覧システム」の拡張と地域資料提供の利便性向上
 - ・バーチャル図書館の構築による非来館サービスの充実
 - ・電子書籍閲覧サービスの充実
- 3 県民のさまざまなニーズや課題解決の支援
 - ・読書バリアフリーの環境づくりに必要な資料や機器、サービスの整備
 - ・子育て支援、行政支援、医療・健康情報等の収集・提供
 - ・地域振興や起業、就労に役立つ資料の充実

Ⅱ 令和7年度事業計画

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
企 画 振 興 担 当	徳島県立図書館協議会	館長の諮問機関として、県立図書館運営の基本的事項を審議する。	協議会委員	年1回	諮問事項の審議等。
	徳島県公共図書館協議会	県内公共図書館の連絡協調を図る。	県内公共図書館	理事会 (4月下旬) 研修会 年3回	活動状況の意見交換や相互協力について検討する。職員の研修会、図書館大会を開催する。
	徳島県読書振興協議会	県内読書推進機関の連携協力を図る。	市町村読書振興協議会 他	年 間	読書振興大会を開催するための援助等を行う。
	協力車の運行	県内図書館間協力のため、協力車等により資料の貸出、県内図書館間の相互貸借等を行う。	市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会	年 間	市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会からの貸出希望に応じる。
	相談業務	図書館や類似施設等に、相談・助言を行う。	県内公共図書館等	年 間	図書館業務全般の情報交換等を行う。
	団体貸出	職場の団体やグループ・学校・施設などに対して、資料を一括して貸し出す。	職場・団体・学校等	年 間	来館して直接選択してもらい、一括貸し出しをする。
	読書会文庫	市町村立図書館、読書グループに、同じ資料を1セット5～10冊編成で貸し出す。	図書館、読書グループ	年 間	貸出期間2ヶ月。図書館を通しての貸し出しも行う。
	町立図書館の設置促進	すべての町に図書館が設置されるよう推進する。	図書館未設置町	年 間	自治体の理事者・教育委員会に対して、その重要性を呼びかける。
	学校図書館への協力貸出	学校図書館からの貸出希望に応じて資料の貸出を行う。学校における図書館活動の活性化に協力する。	県内高等学校及び特別支援学校	年 間	希望校が、最寄りの市町村図書館で資料を受け取れるよう、県立図書館から協力車等で運ぶ。
	総合学術調査	阿波学会の協力を得て各々の専門家が地域を定めて学術調査及び研究を行い、文化の推進及び地域貢献に寄与する。	勝浦町・上勝町	年 間	14学会約100名の専門家によって、それぞれの分野で集中的に調査を行う。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
調 査 ・ 郷 土 担 当 （ 調 査 ）	逐次刊行物の選択・収集・整理	最新の知識情報が得られる定期・不定期刊行物（新聞・雑誌、年鑑、年刊、統計書、白書、政府刊行物、官報等）を選択・収集し、整理する。	一 般	年 間	逐次刊行物は継続的に収集し、保存のため年次別に整備する。
	逐次刊行物の閲覧と貸出	購入・寄贈雑誌の閲覧と貸し出しや一部CD-ROMによる閲覧により、利用者の要求に応じる。	一 般	年 間	一部を除き貸し出しを行う。
	複写サービス	著作権法にのっとり、複写サービスの適正な運用に努める。	一 般	年 間	館内利用者及び県内外からの複写申し込みに応じる。
	雑誌スポンサー制度	雑誌スポンサーを募集し、ブラウジングコーナーの充実を図る。	企業・商店・団体	随時受付	スポンサーに雑誌の購入費を負担してもらう。最新号カバー等にスポンサー名を表示する。
	参考図書の収集と整理	各分野の調査・相談に必要な参考図書の収集、整備に努め、利用に供する。	一 般 図 書 館	年 間	新刊情報誌等により、選書、収集する。
	電子書籍閲覧サービス	課題解決に役立つ電子書籍を提供する。	一 般 図 書 館	年 間	館内端末とインターネットで個人に提供する。
	特別集書の収集と貸出	「橋と川」に関する資料を収集し貸出する。	一 般 図 書 館	年 間	「橋と川」に関する資料を収集する。
	データベースの提供	オンラインデータベースを活用し、高度な調査研究に応える。	一 般	年 間	契約データベースの閲覧専用端末を設置。可能なものはプリントアウトに応じる。
	調査相談活動	一般利用者、市町村立図書館等から寄せられる調査研究の質問に対して必要な資料や情報を提供する。	一 般 図 書 館 県 機 関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによるレファレンスに対し回答する。
	総合目録ネットワークと相互貸借	国会図書館、全国の公共図書館とのネットワークに参加する。相互貸借により利用者の資料要求に応える。	一 般 図 書 館	年 間	総合目録ネットワークシステムへ蔵書目録データを提供する。県外図書館から資料を借り受け、利用者へ提供する。
	レファレンスツールの作成	レファレンスの事例をデータベース化し、検索ツールとして役立てる。	一 般 図 書 館	年 間	レファレンスの回答記録から選定したものなどをデータ入力する。また、公開にも努める。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法（内 容）
（調 査）	検索コーナーの管理・運営	来館者の自主的な調査研究を援助する。	一 般	年 間	利用者用検索端末・デジタル画像閲覧端末を設置し、各種コンテンツを提供する。
	インターネット端末の一般開放	調査研究や知的創造などに欠かせない電子文献の収集を援助・促進する。	一 般	年 間	インターネットが閲覧できる端末を設置し、Web情報の利用に供する。
調 査 ・ 郷 土 担 当 （ 郷 土 ）	郷土資料の充実と整理	郷土に関する資料要求に応えるため、郷土に関する資料の収集・整理に努める。	一 般	年 間	特色のあるコレクションとして一般蔵書と区別して保存し、利用に供する。
	地方行政資料の収集と整理	地方行政資料の網羅的な収集整理に努める。Web版資料についても収集に努める。	一 般	年 間	県、市町村及び国の出先機関等に資料の提供を呼びかける。Web版資料の電磁的記録と利用に関する許諾を求める。
	調 査 相 談 活動	一般利用者、市町村立図書館等から寄せられる郷土に関する調査研究の質問に対して必要な資料や情報を提供する。	一 般 図 書 館 県 機 関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによるレファレンスに対し回答する。
	資料の複写	デジタル化された新聞、郷土資料等の複写サービスを行う。	一 般	年 間	文化の森デジタルアーカイブシステムによる複写を行う。
	資料のマイクロフィルム化・デジタル化	調査研究資料として増大する新聞情報、貴重資料をマイクロフィルム化・デジタル化して整理保存、利用者に提供する。	一 般	年 間	現在、収集保存している全国紙地方面を引き続きマイクロフィルム化し、利用に供する。また、貴重資料等のデジタル化に努める。
	図書の展示	テーマにそった郷土資料の展示を行い、関心を高め利用を促進する。	一 般	年 間	郷土資料の展示を行い、展示資料リストを作成する。
	郷土用レファレンスツールの作成	郷土の事項や人物に関するレファレンス事例データベースを作成し、検索ツールとして役立てる。	一 般 図 書 館	年 間	レファレンス回答記録から選定したものなどをデータ入力する。また、公開にも努める。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
資料 ・ 児童 当 担 (資 料)	資料の収集 と整理	一般貸出資料の選択・収集 ・整理を行う。	一 般	年 間	新刊情報により選書し、 発注、受け入れ・貸し出 しを行う。
	資料の配架 と保存	開架図書の利用を促進し、 書庫内資料の速やかな出納 を容易にする。	一 般	年 間	オープンスペースと書庫 の資料を適正に配列する。
	予約（リク エスト）制 度	利用者の希望する資料の予 約を受け提供する。	一 般	年 間	来館・電話・インターネ ットで予約を受け処理す る。
	視聴覚資料 の収集と整 理	C D の収集・整理を行う。	一 般	年 間	C D ブックを収集し、貸 し出しする。（音楽C D は 寄贈のみ収集）
	障がい者及 び高齢者用 資料の収集 と整理	障がい者や高齢者のための 資料を収集する。	障がい者 高 齢 者	年 間	大活字本やD A I S Y を 収集・整理し、貸し出し を行う。また、据置型・ 携帯型拡大読書器、プレ クストークを設置してい る。
	対 面 朗 読	目の不自由な方等に、資料 を朗読する。	目の不自由な方等	年 間	来館のうえ、対面朗読協 力者が朗読する。
	郵 送 貸 出	障がいのため、来館が困難 な利用者に、郵送による貸 し出しを行う。	障がい者	年 間	電話、インターネット等で 申し込みを受け付け、図 書館資料を郵送する。
	督 促	期限を過ぎても返却しない 利用者に対して督促通知を 行い、資料の効率的運用を 図る。	一 般	年 間	郵便と電話により、通知 を行う。
	ベストセラ ー寄贈事業	予約者が多いベストセラー 本の寄贈をお願いし、予約 待ち期間の短縮を図る。	一 般	年 間	図書館ホームページや館 内にリストを掲示し、寄 贈していただく。
	貸出、利用 者登録	資料の貸し出しと貸出利用 者の登録を行う。	一 般 児 童	年 間	貸し出しは、県内在住者、 在勤者、在学者に対して 10冊22日間。（貸出日を含 む）

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
(資料)	図書の展示	テーマに沿った一般貸出資料の展示を行い、関心を高め利用を促進する。	一 般	年 間	それぞれの時期にテーマにそった図書を集めて展示する。
資料・児童担当 (児童)	資料の収集と整理	児童書、子どもの読書に関する研究書、紙芝居、お話CDなどを収集整理する。	乳幼児 ～ 一般	年 間	新刊情報により選書し、発注、受け入れ、貸し出しを行う。
	予約（リクエスト）制度	利用者の希望する資料の予約を受け提供する。	乳幼児 ～ 一般	年 間	来館、電話、インターネットで予約を受け処理する。
	調査相談活動	子ども、保護者、子どもの読書関係者(機関)、市町村立図書館等からの質問に対して必要な資料や情報を提供する。	乳幼児 ～ 一般、図書館、関係機関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによる質問に応じる。
	学校図書館との連携推進	学校図書館担当職員の相談・要望に応えることにより、学校図書館との連携を進める。	特別支援学校図書館 他	年 間	要望のある県立学校図書館を訪問して説明や相談に応じる。
	子育て支援	子育てに関する資料・情報を提供し、子育て世代をサポートする。	一 般	年 間	子育て支援図書コーナーの設置。「助産師さんと話そう！」(毎月1回)の開催。
	子どもの読書に関する研修会	公共図書館職員、読み聞かせボランティア、子どもの読書活動推進関係者などが、子どもの読書のすすめ方について研修を行う機会を提供する。	子どもの読書活動推進関係者、図書館	年 間	研修会を開催する。
	おはなし会	絵本の読み聞かせなどによって、乳幼児・児童に読書の楽しさを味わってもらう。	乳 幼 児 児 童	月 3 回	絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなどを行う。(月2回はボランティアによる)
	こどもの本コーナーだよりの発行	児童書、子どもの読書関連行事等を紹介するとともに、こどもの本コーナーの広報を行う。	乳幼児 ～ 一般	月 1 回	ホームページ「こどもの本コーナー」にも掲載する。
	図書の展示	テーマにそった児童書の展示を行い関心を高め、子どもの読書活動を推進する。	乳幼児 ～ 一般	年 間	それぞれの時期にテーマにそった図書を集めて展示する。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
その他	とくしまネットワーク図書館システム等の管理運営	コンピュータ委員会を中心に、「とくしまネットワーク図書館システム」、図書館ホームページなどの管理運営を行う。	一般図書館関係機関	年間	コンピュータシステム関連の維持・管理。 マーク登録、蔵書点検作業、ホームページの管理運用などを行う。

令和7年度図書館費予算（当初）の状況

（単位：千円）

事 項 名	令和7年度 予算額(当初)	備 考
図書館管理運営費	53,923	館内維持管理諸経費 日本図書館協会等負担金 貸出カウンター運営管理等業務委託費
県立図書館 「知の拠点」事業	41,404	一般図書購入費 子どもの本充実費 児童図書購入費 電子書籍コンテンツ購入費 新聞・雑誌等購入費 視聴覚機材・資料購入費 雑誌等製本費
館内奉仕運営費	400	館内サービス提供諸経費
コンピュータ管理運営費	4,458	コンピュータ関係経費 (第7期図書館システム運用保守経費を除く。)
郷土資料調査収集研究費	818	総合学術調査経費 郷土資料収集費
読書活動推進費	4,606	協力車巡回諸経費等 読書振興大会補助金
計	105,609	

徳島県立図書館資料収集方針

I 基本的考え方

- 1 資料の収集選択に当たっては、県立図書館としての基本的性格を踏まえて、図書館法並びに「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に定める資料を収集する。
- 2 「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会採択 1979年改訂）の精神を尊重する。
- 3 資料の選定においては、資料の価値及び利用者の要求に十分配慮し、県民の意向や資料収集委員以外の職員の意見も十分反映させる。
- 4 図書館機能の役割を認識し、効率のよい収集を行う。
- 5 資料の収集においては、蔵書の各分野別のバランスが適正になるように調整を図り、基本的な図書を中心に広く収集し、かつ、蔵書がいつも新鮮な状態を保つように配慮する。
- 6 寄贈図書の受け入れについては、前項の収集方針を適用し、その運用については別に定める。
- 7 寄託資料については、原則として、新たな受け入れは行わない。

II 図書選定者の任務

- 1 出版される資料に関して、豊富な情報、資料を持つこと。
- 2 担当する領域の資料を読み、その内容を把握すること。
- 3 図書館利用者のニーズ及び社会の現状について研究すること。

III 図書の内容、形態による収集

- 1 以下の形態を取るものについては収集しない。
 - (1) 切抜、組立を目的に編集されたもの。
 - (2) 書込を目的として編集されたもの。
 - (3) 著しく耐久性に欠けるもの。
- 2 プライバシー（人権）を著しく損なう資料は、特に内容表現等を検討する。
- 3 対立関係になる問題を扱ったものについては、双方の主張を収集する。
- 4 受験参考書、問題集、教師用テキストは収集しない。
- 5 外国語図書については、利用頻度が高いと予想されるものを収集する。
- 6 宗教に関しては、バランスを考慮し、特定宗派に偏らないようにする。

IV 個別基準

＜郷土資料の収集＞

郷土資料の収集に当たっては、次の点について留意する。

- 1 郷土資料の範囲は、徳島県全域（淡路を含む～近世）とする。
- 2 郷土に関係した文献及び資料は、すべて郷土資料とする。ただし、その一部分のみが郷土に関係しているときは、必要に応じて郷土資料として取扱う。
 - (1) 郷土地域について書かれたもの
 - (2) 郷土の人物について書かれたもの
 - (3) 郷土出身者、郷土在住者、郷土在職者の著作物
 - (4) 郷土で発行された図書以外のもの
- 3 郷土に関する資料は、保存用、閲覧用、貸出用を収集する。

＜参考資料の収集＞

参考資料については、原則として次の種類について収集する。

- | | |
|-----------------|--------|
| 1 辞典 | 7 年表 |
| 2 百科事典 | 8 地図帳 |
| 3 専門辞典 | 9 書誌 |
| 4 人名（伝記）事典、地名事典 | 10 索引 |
| 5 便覧（ハンドブック） | 11 抄録 |
| 6 図鑑 | 12 統計書 |

＜児童資料の収集＞

児童の健全な育成に配慮し、収集する。

＜視聴覚資料の収集＞

- 1 市販されている録音図書（カセット、CD等）、紙芝居を収集する。
- 2 郷土に関する資料を収集し、保存する。

＜新聞・雑誌、その他逐次刊行物の収集＞

- 1 主要な全国紙、地方紙、外国新聞を収集する。
- 2 広く読まれる雑誌、専門的な逐次刊行物、主要な外国雑誌を収集する。
- 3 逐次刊行物として取扱う資料の基準は、「逐次刊行物資料判定基準（昭和63年4月1日制定）」によるものとする。

＜電子書籍の収集＞

辞典・図鑑など調査研究に役立つ資料や郷土資料、図書館の設定したテーマに沿った資料を収集する。

＜マイクロフィルムの収集＞

徳島県に関連するものを収集する。

＜特別集書の収集＞

橋や川に直接関係した内容、テーマのものを収集する。

V 資料の収集方法

- 1 新刊案内、出版目録、各種書評等で選定し、購入・寄贈等により収集する。
- 2 市町村立図書館および利用者からの貸出希望については、各選定基準に基づき、可能な範囲で収集する。

VI 資料収集委員会で検討するもの

- 1 漫画及び漫画に類似した資料
- 2 一枚ものの資料
- 3 徳島県立図書館閲覧の制限に関する要綱第2条に規定する関係資料
- 4 特定の団体、企業等の売り込みによる資料
- 5 全集、分冊、シリーズ本、自費出版本
- 6 高額な資料
- 7 リクエスト資料
- 8 その他検討が必要と認める資料

VII その他

資料収集に関する個別の運用基準については、別途定める。

徳島県立図書館資料収集・選定運用基準

【 趣 旨 】

この運用基準は、徳島県立図書館の資料の収集・選定を効率的に行うため、徳島県立図書館資料収集方針に基づき定めるものとする。

1 一般資料

(共通基準)

1. 各分野における原典、古典、名著は既存資料と内容を比較検討して収集する。
2. 各分野の主要な全集、選集、著作集、資料集、講座、叢書を収集する。
3. 各分野の入門書、概説書は専門的な観点から記述された内容の充実したものを収集する。
4. 各分野の専門書、学術書は類書と内容を比較検討して収集する。
5. 内容が高度で細分化された専門分野の資料については、大学・専門機関等の収集に委ねる。
6. 政府及び政府関係機関、団体などの資料は、各種報告書を中心に収集する。
7. 類書が多い分野は、テーマを史実や研究課題として扱ったもの、代表的な観点で書かれた資料を収集する。
8. 社会的関心の高いテーマに関する資料は、内容の充実したものを収集する。
9. 徳島県と関連の深い内容、県政課題、県民に関心のある課題に留意して収集する。
10. 各分野における受賞作品は、既存資料の利用状況などを考慮して収集する。
11. 増補、改訂版については、旧版との差異を考慮して収集する。
12. 復刻版は、蔵書構成の中で資料的価値のある資料を収集する。
13. 大活字本は積極的に収集する。
14. 実用書は、調査・研究に有効なものを中心として収集する。
15. 保存、利用に適さない形態の資料は、原則として収集しない。一過性ではなく長期の利用に耐える資料を収集する。
16. 単行本がある場合は、原則として文庫本より優先して収集するが、リクエストにおいてはこの限りではない。
17. 逐次刊行物扱いの資料と重複するものは収集しない。
18. 劣情をそそる資料については収集しない。

(分野別基準)

各分野においては、とくに以下の点に留意して収集する。

ア 総記

1. 情報科学に関する資料は入門書から専門書まで、最新のものを収集し、更新に努める。
2. 図書館、図書館学に関する資料は、積極的に収集する。

イ 哲学・宗教

1. 世界と日本の主要な哲学者の代表的な著作および哲学に関する解説書、研究書などを体系的・系統的に収集する。
2. 超心理学、心霊研究、占いに関する図書は研究書については精選し、それ以外のものについては厳選する。
3. 世界と日本の主要な宗教の聖典および宗教に関する解説書、研究書などを体系的に収集する。

ウ 歴史・地理

1. 歴史に関する基本的な資料、主要な解説書、研究書を幅広く収集する。
2. 日本の歴史に関する資料は、精選して収集する。
3. 世界各国、各地域の歴史に関する資料は、蔵書構成に考慮して収集する。
4. 伝記は、各分野、各時代の代表的な人物を中心に精選して収集する。
5. 地理については、国内外ともに蔵書構成に考慮して収集する。
6. 旅行ガイドブックは精選する。主要なものは必要に応じて更新する。

エ 社会科学

1. 各国事情に関する資料は、各国、各地域を網羅する。蔵書構成に考慮して収集する。
2. 法律に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集する。法令の制定、改正などに留意して、必要に応じて更新する。
3. 政治、経済に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集するが、長期的な利用が見込めない時事的なものについては厳選して収集する。
4. 社会問題に関する資料は、幅広く収集する。
5. 教育に関する資料は、幅広く収集する。特に家庭教育、生涯学習に関する資料に留意して収集する。
6. 風俗、民俗に関する資料は、各地域、各民族を網羅する。

オ 自然科学

1. 自然科学に関する資料は、各分野について入門書から専門書まで幅広く収集する。
2. 医学・薬学に関する資料は、人体や病気及び医療についての理解に役立つ資料を中心に収集する。
民間医療については、客観性、科学性、信頼性に留意する。
3. 科学の楽しさを伝えるエッセイや趣味教養の本なども著者・話題性・内容を考慮し、精選して収集する。

カ 技術・工学

1. 最新の研究成果や技術の進歩に留意し、体系的に収集する。各種の規格類、図面、図集などは基本的なものを必要に応じて収集する。
2. 研究の成果が生活の安全などに反映される分野に関しては、その知識の理解を助けるよう、基本的でわかりやすい図書を中心に収集する。
3. 生活科学については、学術的なものだけでなく日常生活に役立つ実用書を必要に応じて収集する。

キ 産業

1. 各種産業に関する資料を幅広く収集する。新しい技術や研究成果および社会的動向に留意する。
2. 商業、運輸、通信事業に関する資料は、最新の企業動向、時事性、話題性に留意して収集する。
3. 家庭向けの園芸資料、ペットに関する資料は精選する。

ク 芸術

1. 国内外の芸術の各分野の主要な解説書、研究書、作品集等を体系的に収集する。
2. 個人の画集、作品集については、当該作家の評価、知名度、既存資料との重複を考慮して精選する。
3. コミック漫画は、収集しない。ただし、学習漫画は別途に判断する。
4. 写真集は、芸術性、記録性などに留意し精選する。
5. 音楽に関する資料は、幅広い分野の資料を収集する。楽譜は収集しないが、歌集、楽譜集は基本的なもの、調査・研究に有効なものを中心に収集する。
6. 伝記、読み物、エッセイは、既存資料と比較検討し精選する。
7. スポーツは、ルールブックや技術書などを中心に精選して収集する。
8. 囲碁、将棋、ゲーム等室内娯楽に関する資料は厳選して収集する。

ケ 言語

1. 文字・言語の歴史や成り立ちが概観できるもの、各言語の語彙・単語、文法、音韻、文体等が体系的に理解できるものを収集する。
2. 言語辞典は各言語の歴史・文化や有用性を考慮して収集する。
3. 学習等のための語学実用書は、目的に合わせてその効果の高いものを精選して収集する。ただし、試験・資格を対象としたものは内容を十分に吟味する。

コ 文学

1. 内外の文学が体系的に理解できるような文学史、文学論を収集する。
2. 古典から現代まで文学史上に登場する主な作品とそれに関する作家論、作品論は幅広く収集する。著名な文学作品やその関係書については、精選する。
3. 文学形式や小説分野を問わず、描写にすぐれ作品性の高いものを収集する。
4. 時代性や社会性を反映し、将来評価の対象となりえる文学作品を収集する。
5. 主要言語の外国作品だけでなく、それ以外の外国作品も秀作を中心に幅広く収集する。

2 逐次刊行物

県内市町村立図書館、大学図書館、類縁機関等における収集状況を考慮し、慎重に選定する。

1. 雑誌

- (1) 情報誌は、多様な意見を反映した蔵書構成に努める。
- (2) 専門誌は、速報性、蓄積性を考慮し、幅広く収集する。
- (3) 業界誌は、各業界の動向が把握できるものを収集する。

- (4) 医療・健康誌は、記事の信憑性を吟味し、幅広く収集する。
- (5) 芸術・文化誌は、幅広い読者を対象としたものを収集する。
- (6) 文芸誌は、代表的なものを収集する。
- (7) 実用誌は、日常生活に役立つものを精選する。

2. 新聞

- (1) 主要な全国紙と地方紙、業界紙などを収集する。

3. 年刊類

- (1) 各分野の代表的な年鑑、年報類については、積極的に収集する。
- (2) 政府刊行の白書、統計類については、積極的に収集する。
- (3) 統計、調査報告は、一次資料を中心に収集する。また、編集されているものについては体系的に編集され、調査・研究に有用なものを収集する。
- (4) 継続収集に努めるが、定期的に版を重ねる（改定される）資料で大部なものは、必要に応じて随時収集する。

3 参考資料

- (1) 現在の社会情勢、県民の有する課題を考慮し、調査・研究活動を支援するものを、内容の改定に留意し積極的に収集する。
- (2) オンラインデータベースは、調査・研究に有用なものを精選する。
- (3) 館全体の蔵書構成を考慮し、整合性を図る。
- (4) 地形図等については、一枚ものであるが収集する。

4 特別集書

- (1) 橋と川に関する資料を幅広く収集する。
- (2) 農業利水、農業用水（614.3）は原則として除く。

5 郷土資料

1. 原則として、次のものを資料の種別に関係なく網羅的に収集する。

- (1) 内容が徳島地域に関する資料。地域の対象は徳島県全域とする。ただし、近世までは淡路を含む。
- (2) 内容が徳島ゆかりの人物に関する資料
- (3) 個人著者等が徳島出身の資料
- (4) 個人著者等が徳島在住または在職で、その足跡、活動が地域に影響を与えた人の資料
- (5) 県内自治体、関係機関が発行する地方行政資料
- (6) 徳島に拠点を置く事業所や各種団体が発行する年報、概要、研究報告、機関誌、記念誌
広報、リーフレット
- (7) 県内の学校等が発行する要覧、研究紀要、記念誌、校誌、副読本、新聞、施設案内

- (8) 徳島で発行される同人雑誌
 - (9) 徳島を舞台にした文芸作品
 - (10) タウン誌、ミニコミ紙
 - (11) 観光パンフレット、イベントちらし
 - (12) 徳島の地方新聞および全国紙の徳島地方面
 - (13) 徳島の地図類
 - (14) その他郷土資料として保存・利用が必要なもの
- 2. 資料全体の一部分を扱っている場合は、量、内容、蔵書構成等を考慮し、必要に応じて収集する。
 - 3. 一般雑誌、多巻ものの一部（１巻）に徳島を扱っている場合は該当の巻を収集する。
 - 4. 保存用のほかに閲覧用・貸出用の収集に努める。

6 児童資料

- 1. 乳児から中高生など１０代の子どもまでを対象として、次の資料を網羅的に収集する。
 - (1) 児童図書
 - (2) 紙芝居
 - (3) ヤングアダルト向きの図書
 - (4) 児童対象の録音図書など（ＣＤ）
 - (5) 児童向きの逐次刊行物
- 2. 児童資料室用図書として次の資料を収集する
 - (1) 児童図書や子どもの読書について調査・研究するための資料
 - (2) 子どもの読書推進に役立つ大型絵本や関連資料
 - (3) 但し、教科書及び教科書に関する研究書は、収集しない。
- 3. 収集の制限
原則として、次の形態や内容の資料は収集しない。
 - (1) 形態
 - ・ 散逸しやすいもの
 - ・ 組み立て、切り抜きを目的に編集されたもの
 - ・ 著しく耐久性に欠けるもの
 - (2) 内容
 - ・ 受験用参考書、問題集
 - ・ 商業的キャラクターを扱ったもので、マニュアル用として利用されるもの（ゲームの攻略本など）
 - ・ 戦争、性、生命等を興味本位に扱ったもの
 - ・ 童謡・わらべ唄を除く、音楽が主となるもの（CD、カセット）

附則

この基準は、平成２５年４月１日から施行する

Ⅲ 令和6年度事業報告

1 企画振興担当 関係

文化の森他館との連絡調整、研修会等を開催するとともに、友好文化団体と協力して業務を実施した。

また、市町村立図書館に対し、援助・協力するとともに、「とくしまネットワーク図書館」システムの充実に努め、県下の中核図書館として県民へのサービスを進めた。

(1) 企画関係業務

- ① 図書館の維持管理
- ② 各種統計調査、年報の発行
- ③ 各種講演会、図書館研修会等への職員の派遣
- ④ 徳島県立図書館協議会を9月6日に開催した。

(2) 協力関係業務

協力車と配送による資料の貸出、県内図書館間の相互貸借を行った。また、県内全公共図書館と図書館未設置町教育委員会を訪問し、情報交換、相談・助言等を行った。

県内高等学校・特別支援学校図書館を対象に希望する資料の貸出を行った。また、各読書振興団体と協力して読書の振興・普及を図った。

- ① 協力車と配送による援助・協力活動を行った。延べ巡回日数 204日 延べ配送日数 102日
(ア) 市町村立図書館に対する援助・協力活動を行った。

対象市町村数 19市町村

協力貸出(リクエスト) 貸出冊数 16,364冊

- (イ) 図書館未設置町への資料援助を行った。

対象町数 5町

協力貸出(リクエスト) 貸出冊数 2,776冊

- ② 相談業務を実施した。

対象 市町村立図書館 27館、図書館未設置町 5町、県立高等学校 1校

- ③ 県立学校図書館への資料援助を行った。

利用学校数 30校 協力貸出(リクエスト) 貸出冊数 1,691冊

- ④ 団体貸出の実施(職場・学校などの団体に対して貸し出しを行った。)

利用団体数 4団体 貸出冊数 537冊

- ⑤ 読書会文庫の貸出(1セット10冊の読書会文庫を貸し出した。)

利用団体数 8団体 貸出冊数 779冊

- ⑥ 「まなびの森」講演会(生涯学習支援事業)を放送大学徳島学習センターと連携し行った。

開催講演数 12講演 参加人数 331名

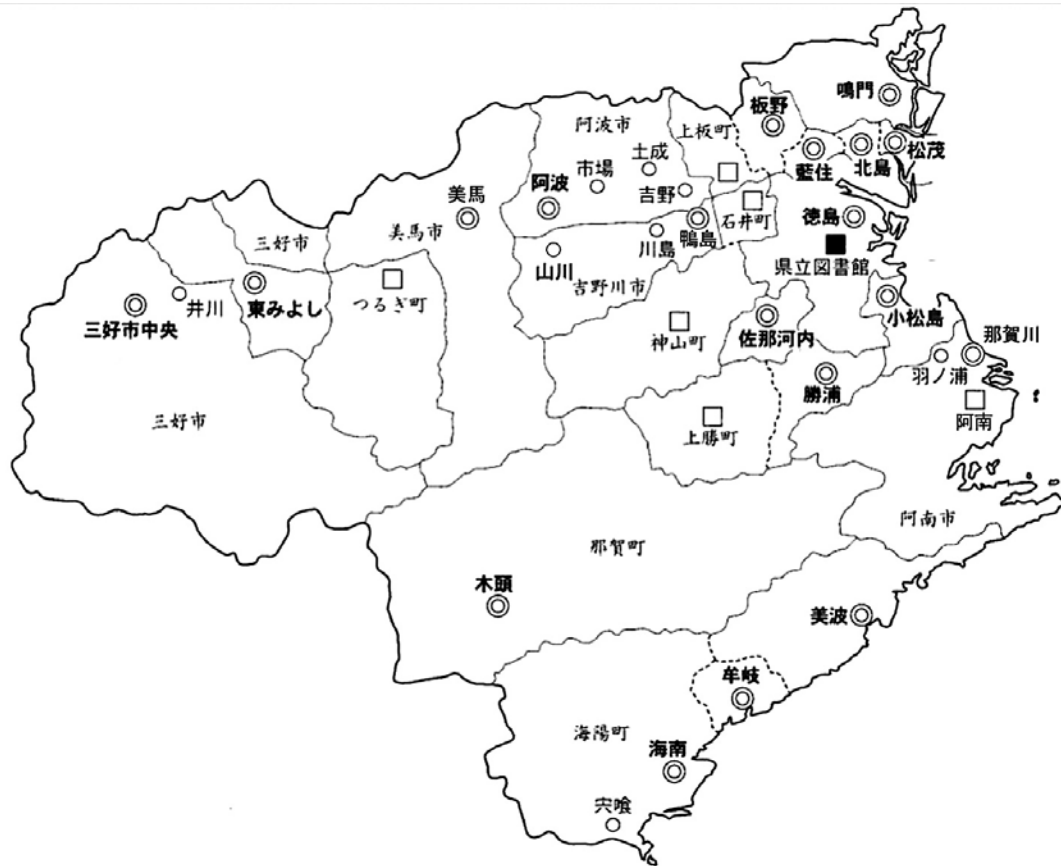
- ⑦ 令和5年度より、総合学術調査を佐那河内村において実施し、佐那河内村役場 村民ホールで令和6年4月27日に「令和5・6年度阿波学会佐那河内村総合学術調査中間発表会」を、令和7年3月22日に「令和5・6年度阿波学会佐那河内村総合学術調査最終報告会」を開催した。

- ⑧ 阿波学会発足70周年記念事業を、9月7日から12月14日まで開催した。

- ⑨ 協力業務実務担当者会を開催し、協力通信 No. 290～296を発行した。

■ 協力車等の巡回状況

(平成22年4月1日から県内すべての市町村に配送開始)



◎：協力車等巡回配送対象市町村立図書館（19館…各自治体に巡回）

□：協力車巡回配送対象教育委員会等図書館以外の施設

2 調査・郷土担当 関係

県立図書館の基本的資料である逐次刊行物・参考図書・郷土資料を収集、整理、保存して広く県民の利用に供した。

館内及び、館外からの文書・電話・メールによるレファレンスサービス、県外公共図書館への相互貸借、市町村立図書館への協力業務（レファレンス）を進めたほか、郷土に関するあらゆる資料の収集と新聞のデジタル化・マイクロフィルム化を図り利用に供した。

(1) 逐次刊行物関係業務

- ① 資料購入費（備品費）2,362,503円で、年鑑、白書等 244点を購入した。
- ② 資料購入費（需用費）5,288,335円で、雑誌270タイトル 3,026冊、新聞 29種、官報 114部を購入した。
- ③ 寄贈資料 年鑑・年報・統計書類 197冊、雑誌 2,000冊、視聴覚資料 2点を受け入れた。新聞は15種であった。
- ④ ブラウジングコーナーには、約4,000冊、新聞・雑誌コーナーには、約7,000冊を開架し、閲覧に供した。
- ⑤ 製本費 160,680円で、官報等 59冊の製本を行った。

- ⑥ 徳島県内公共図書館の購入雑誌と所蔵新聞について調査し、「徳島県内公共図書館購入雑誌・目録・所蔵新聞目録 2024年版」を作成するとともに、ホームページ上で「県内公共図書館購入雑誌一覧」を公開した。
- ⑦ 県立図書館応援事業として平成21年度から雑誌スポンサー事業を実施し、令和6年度は、12団体より30誌の提供があった。
- ⑧ 「4月30日は図書館記念日 5月は図書館振興月間」展などの雑誌のバックナンバーを用いたミニ展示を一般資料コーナーにおいて計5回実施し、資料の利用促進を図った。
- ⑨ 電子コピー機による複写枚数は、31,720枚（白黒 30,127枚、カラー 1,593枚）であった。

(2) 参考資料関係業務

- ① 5,080,523円で 参考図書 417冊、140,931円で 特別集書（橋と川に関する資料）を 46冊購入した。
寄贈資料は、参考図書 91冊、特別集書（図書 12冊、雑誌 14冊）であった。
- ② 電子書籍655冊、3,999,858円を購入し、電子書籍閲覧サービスを行った。また、県立高等学校等に電子書籍閲覧のためのIDを配布し、電子書籍閲覧活用モデル事業として、美波町内の小中学校にもIDを配布した。
- ③ 参考資料コーナーには約 25,000冊、特別集書コーナーには約 5,000冊を開架し、閲覧に供した。
- ④ 参考質問件数は 8,081件で、内訳は、レファレンス記録記載分 543件（そのうち、市町村立図書館等からの参考質問は 27件、県議会・行政機関からの参考質問は 25件）、所蔵検索等の資料案内件数が 7,538件であった。
- ⑤ 県外との相互貸借は、他館からの借り受けが80件 97冊、他館への貸し出しが 316件 506冊で、合計396件 603冊であった。（協力車等による県内図書館への貸し出しは除く。）
- ⑥ 「朝日クロスサーチ」等のオンライン・データベースを端末2台でレファレンスに活用した。
国立国会図書館デジタル化資料を閲覧用端末4台で、利用に供し、また、これらデータベースのプリントアウトサービスを行った。枚数は 595枚（白黒 594枚、カラー 1枚）であった。
- ⑦ 利用者用インターネット端末2台の利用は 122件であった。
- ⑧ 県立図書館の参考図書の新着案内を月1回「とくしまネットワーク図書館」に掲載し、ホームページで公開した。
- ⑨ 「新人さんいらっしゃい」展などのビジネス支援に関するミニ展示を〈しごと応援コーナー〉において計5回実施し、資料の利用促進を図った。
- ⑩ 県内企業支援団体の協力を得て、経営者向け研究会、講演会、相談会のちらしを収集し、〈しごと応援コーナー〉の一角に設置した。

(3) 郷土資料関係業務

- ① 資料購入費（備品費）1,170,549円で、図書 522冊、CD 13枚、DVD 5枚を購入した。
- ② 227,700円で新聞のマイクロフィルム 4巻と縮刷版PDF変換済データ一式を購入した。
- ③ 委託料 37,620円で貴重資料2点のデジタル化を行った。
- ④ 資料購入費（需用費）92,820円で、逐次刊行物 3タイトル 60冊と郷土新聞 1タイトルを購入した。

入した。

- ⑤ 寄贈資料：図書 944冊、逐次刊行物 2,409冊、視聴覚資料等 10点を受け入れた。
- ⑥ 製本費 243,320円で、新聞等 6タイトル 38冊の製本を行った。また、42,900円で 9点の修理製本を行った。
- ⑦ 「徳島新聞」等のマイクロフィルム・デジタル画像の閲覧 327人、複写 3,296枚（白黒 3,241枚、カラー 55枚）であった。
- ⑧ 研究室1：38件 40人、研究室2：0件 0人、撮影室：4件 4人の利用があった。
- ⑨ 徳島新聞縮刷版PDFファイルをデジタル画像閲覧システムに登録し、館内専用パソコンで利用に供した。
- ⑩ Web上に公開されている地方行政資料を当館の電磁的記録媒体に記録・保存した。
- ⑪ 郷土資料を探すためのヒントを与えるパスファインダー第1、4、6、12号を改訂した。
- ⑫ 防災講座「地震の仕組みを知って備える」（11/24 講師：徳島地方気象台 気象情報官 岡崎賢治氏 参加者：17名）を開催し、ブラウジングコーナーで関連パネル展示を行った。
- ⑬ 「花を楽しむ」展などのミニ展示を郷土資料コーナーの展示ブース等において計 7回実施し、資料の利用促進を図った。
- ⑭ 「徳島県文化の森総合公園／とくしまデジタルアーカイブ」で 54点の資料を公開した。
- ⑮ デジタルアーカイブ構築事業で和古書等 12点のデジタル化を行った。

3 資料・児童担当 関係

一般貸出用資料、児童資料を購入及び寄贈により収集し、整理、保存している。それらの資料により、館内閲覧、個人貸出を行った。また子どもの読書活動推進についての研修会、展示等を実施し、障がい者、高齢者へのサービスを充実するため視聴覚資料の収集に努めるなど、県民全体へのサービス向上の更なる充実を図った。

(1) 貸出関係業務

- ① 図書資料購入費 16,365,553円で、一般資料コーナー用図書 7,092冊 15,751,145円（大活字本を含む。）、視聴覚資料 135点 614,408円（朗読CD 99点、デージー 14点、マルチメディアデージー 22点）をそれぞれ購入し、整理した。
- ② 寄贈資料 40冊を受け入れ、整理した。
- ③ 令和6年度末の一般資料数は797,432冊（視聴覚資料含む）である。一般資料コーナーに約20万5千冊を開架し、書庫一般の資料は出納により利用に供した。
- ④ 貸出冊数、貸出利用者数、登録者数
6 諸統計（28、29ページ）参照
- ⑤ 一般資料のリクエスト（予約）は 23,021件であった。
- ⑥ 障がい者への郵送貸出の利用は、図書・雑誌 280冊、一般用視聴覚資料 80点、デージー 62点であった。閲覧室には、活字による読書が難しい人がデージー図書を利用できる専用端末（ブレストーク）や、据置型拡大読書器を設置し、読書環境を整えている。また、卓上型対話支援システム（コミュニケーション）をカウンターへ配置し、聞き取りやすさを補助して、利用者との円滑なコミュニケーションが図れるようにしている。
- ⑦ AVコーナーでは、CDデッキ 1台を設置し、ヘッドホンにより自由に聴けるようにしてい

る。また、車椅子のまま利用できるCD・カセット用機器を設置している。

- ⑧ 「しごと応援コーナー」において、就職・起業、会社実務、経営・雇用、職場環境などに関する資料を紹介、貸し出した。
- ⑨ 「セカンドライフ応援コーナー」において、認知症やフレイル予防などシニア世代に身近なテーマの展示を計5回実施し、資料の利用促進を図った。また、ちらし・パンフレット等による情報提供を行った。
- ⑩ 「セカンドライフ応援講座～豊かな老後のために知っておきたいお金の話～」(講師：J-FLEC認定アドバイザー)を開催した。(11/30 参加者：21名)
- ⑪ 平成21年度から開始した県立図書館応援事業のベストセラー寄贈事業では、26冊の寄贈を受けた。
- ⑫ 「安部公房生誕100年」などのミニ展示を一般資料コーナー検索端末機横の展示スペースにおいて計9回実施し、資料の利用促進を図った。

(2) 児童関係業務

- ① 資料購入費 5,819,872円(うち〈こどもの本充実枠〉1,653,934円)で、児童関係図書 3,213冊(図書 3,096冊、洋書 53冊、紙芝居 64巻)を購入し、整理した。また、新聞・雑誌購入費は295,350円で、新聞5紙、雑誌を34タイトル 322冊を購入し、整理した。
- ② 寄贈資料として図書 56冊(うち〈百年の夢寄贈文庫〉7冊)、雑誌 108冊、視聴覚資料 4点を受け入れ、整理した。
- ③ こどもの本コーナーに約48,000冊を、児童資料室に子どもの読書や児童図書関連の研究書など約4,000冊を開架図書として配置した。

コーナーの一角に、ヤングアダルトコーナーを設け、中・高校生向けの図書を別置した。

また、子育てに関する図書約1,000冊と雑誌14誌、赤ちゃん絵本約800冊を集め、子育て関係機関等のパンフレットなども置いた「子育て支援図書コーナー」の充実を図った。

「よみかたいろいろバリアフリーコーナー」を設け、点字資料、大活字本、LLブック、マルチメディアデジ図書などを配置した。
- ④ 貸出とあわせて子どもの本に関する読書相談及び参考質問に応じた。また、一層のサービス向上を図るため、子どもの本、子どもの読書に関する参考図書や郷土関係資料を収集してその充実に努めた。
- ⑤ 児童関係資料のリクエスト(予約)は、7,617件であった。
- ⑥ 学校図書館訪問相談を特別支援学校10校に行い、図書館業務に関する相談と県立図書館のサービスについての案内を行った。
- ⑦ 読み聞かせ団体等のべ54団体に対して、紙芝居舞台など読み聞かせ・おはなし会用の備品79点を貸し出した。
- ⑧ 「みやにしたつやさん」(「宮西達也先生 in 文化の森」関連展示)など、テーマを決めたミニ展示を、こどもの本コーナーの各所において計34回実施し、資料の利用促進を図った。
- ⑨ 子どもの読書に関する研修会・行事
 - 初めての方のための読み聞かせ講座 6月1日 参加者：21名
 - 講師 渡邊美恵(絵本専門士、徳島県立図書館おはなし会ボランティアスタッフ)
 - 絵本専門士の講師から、読み聞かせの初歩として、絵本の構造、対象年齢の説明、技術と

して絵本の読み方の講義の後、参加者による短い実技が行われた。

○令和6年度子どもの読書研修会・徳島県立図書館おはなし会ボランティア研修会

2月9日 参加者：21名

「宮沢賢治にとまどうーたどたどしく読み深める「注文の多い料理店」

講師：構大樹（鳴門教育大学大学院講師）

内容：「注文の多い料理店」をつまづきながら、たどたどしく読み進めていくなかで、賢治作品の面白さ、読むことの意義について考えを深める。また、絵本専門士である渡邊美恵氏、森慶子氏、湯地由美氏の3名による「注文の多い料理店」の朗読を行った。

○行事

・赤ちゃんと楽しむおはなし会・助産師さんとはなそう！（毎月第2木曜日）

月 日	4/11	5/9	6/13	7/11	8/8	9/12	10/10	11/14	12/12	計
参加人数	6	6	9	2	12	7	10	6	8	66

※図書館改修工事のため、1月から3月まで中止。

・おはなし会（毎月第2・4日曜日および「きせつのおはなし会」年4回）

月 日	4/14	4/28	5/5	5/26	6/9	6/23	7/14	7/28
参加人数	20	16	26	10	9	23	18	22

月 日	8/11	8/25	9/8	9/22	10/13	10/27	11/3	11/10
参加人数	36	29	17	34	16	17	38	9

月 日	12/8	12/22	1/26	2/11	2/23	3/9	3/23	合計
参加人数	18	16	5	88	15	8	8	498

※図書館改修工事のため、1月26日の回から、21世紀館ミーティングルームで開催した。

- ・えいごのおはなし会 11/23 参加者：30名 2/11 参加者：67名
- ・クリスマスおはなし会 12/15 参加者：22名

・近代美術館特別展「ユーモア おかしみの表現に潜むもの」関連イベントで、出品作家が挿絵や文章を手がけた絵本の読み聞かせを行った。（5/19 17名）

・夏休みには、JICA徳島デスクと共催で夏休み「世界ワークショップまつり」を開催し、海外の絵本の読み聞かせ、世界の国の紹介、物作りワークショップ、遊びなどを行った。（7/27 133名）また、当館職員を講師として「かんたん！読書感想文 本のえらび方・書き方」（8/4 11名）、徳島県防災人材育成センターより講師を招き「「まなぼうさい教室」防災出前講座」（8/4 10名）を行った。

・文化の森サマーフェスティバルの一環として、児童を対象に、書庫など普段は見られない図書館の裏側を紹介する「図書館探検隊」を行った。（8/11 24名）

・徳島県助産師会開催イベント「第13回 いいお産の日」で、読み聞かせ、絵本の展示を行った。（11/3 37名）

⑩ 広報

『こどもの本コーナーりようあんない』を常備し、来館者に配布した。

また、毎月1回『こどもの本コーナーだより』を発行し、来館者のほか県内の市町村立図書館、四国他県の県立図書館等に配布した。ホームページの「こどもの本コーナー」にも掲載した。

4 図書館システム関係業務

(1) 徳島県立図書館ホームページの運営

平成12年4月から徳島県立図書館のホームページを開設しており、令和6年12月に全面的な改修作業を行った。

(2) コンピュータ委員会

各担当より選出された10名でコンピュータ委員会を構成し、「とくしまネットワーク図書館」システムの運用などについての検討・作業を行った。また、職員用端末ネットワークシステムの更新・運用作業を行った。情報セキュリティの管理にも取り組んだ。

(3) システム担当者会

文化の森6館の担当者の会議に出席。各館業務システム及び文化の森情報システム運用のための各種作業を行った。また、更新及びデジタルアーカイブシステムについての検討や各館の情報交換などを行った。

5 他機関との連携事業ほか

(1) 課題解決サービス

① 健康・医療情報の提供

徳島県薬剤師会主催の「まちのお薬相談室」を平成28年6月より図書館1階で月2回実施し、令和6年度は207件の薬効や副作用についての相談が寄せられた。

平成26年11月より「健康応援コーナー」を設置し、関係団体の協力を受けて収集したチラシ、パンフレット類を配架している。

令和6年9月3日から16日には県保健福祉部長寿いきがい課の認知症に関する資料・パネル展示を行った。

② しごと応援コーナーの充実

平成23年9月に設置した「しごと応援コーナー」には、仕事に関する図書約800冊・雑誌の他に、ジョブカフェとくしま（徳島県若年者就職サポートセンター）・ハローワーク徳島などと連携して、令和6年度においても就業情報パンフレットやポスター、毎週発行の求人情報誌などを置き、情報提供を行った。さらに、県内企業の社史・会社案内の収集・提供も行い、関係機関との連携強化を図った。また、ビジネス支援として、県内企業支援団体の協力で、企業支援関係や経営者向けセミナー等のチラシ・パンフレット類を配架している。

9月27日から10月25日には県労働委員会が職場のトラブル解決に関する資料・パネルの展示を行った。

③ 行政支援

県議会事務局の依頼により、テーマ展示の本や調査レポート用の資料を選んで提供した。

(2) 県立図書館 県政情報テラス事業

平成23年11月から、県政情報テラス事業として、県の重点施策や地域の課題をわかりやすく周

知、理解していただくコーナーを一般資料コーナーカウンター横に設置している。令和6年度は、20件のパブリックコメントや募集結果を配布・公示した。また、県政に対する42件のチラシを配布した。

(3) 講師派遣、インターンシップの受け入れ、学校教育との連携

県立図書館では、社会教育施設や学校などの要請を受けて職員を講師として派遣している。

生徒が、自分の学習内容や進路に関連した就業体験や見学を行う「中高生の職場体験・インターンシップ」の受け入れも行っている。また、学校教育との連携として、学校の授業・遠足等による図書館利用を促進している。(別表 p 24～ p 26)

(4) 文化の森連携事業

文化の森全館で、5月5日に「文化の森 こどもの日フェスティバル」、8月11日に「文化の森 サマーフェスティバル」、11月3日に「文化の森 秋祭り」、2月11日に「文化の森 ウィンターフェスティバル」を開催し、図書館では季節に合った「おはなし会」を実施した。また、12月4日から12月10日まで、近代美術館ギャラリーにて「文化の森 人権啓発展」を開催し、図書館は当館所蔵の人権関係資料と識字関係資料を展示した。

9月14日には、二十一世紀館との共催で「ティラノサウルスシリーズの絵本作家 宮西達也先生 in 文化の森」をすだちくん森のシアターで開催した。

(5) 大学図書館との連携

平成29年3月28日に締結した「国立大学法人徳島大学、国立大学法人鳴門教育大学、徳島県及び徳島県教育委員会による図書館活動に関する協定」に基づき、以下の事業が実施された。

① 交換展示ほか

- 令和5年度に県立図書館で実施した「もうすぐ新紙幣」の企画展示が、「ようこそ新紙幣」というタイトルで、10月1日から11月15日まで徳島大学附属図書館で、12月26日から2月4日まで鳴門教育大学附属図書館で実施された。
- 県立図書館「電子図書館」プラットフォームからの徳島大学附属図書館及び鳴門教育大学附属図書館がデジタル化した画像データベースへのリンクアクセスを継続した。

② 図書館職員の交流研修

- 徳島県図書館職員第2回研修会に、徳島大学附属図書館から職員1名、鳴門教育大学附属図書館から職員2名の参加、第3回研修会に、鳴門教育大学附属図書館から職員1名の参加があった。

○ 図書館職員の相互訪問研修の実施

9月25日に、県立図書館の主催で「図書館システムの運営と危機管理」の研修があり、7名の職員が参加した。

③ 平成28年8月から、鳴門教育大学附属図書館と徳島県立図書館による相互貸借を実施しており、令和6年度は、貸出 238冊、借り受け 7冊だった。

④ その他

県立図書館で、各館の利用案内やイベントのチラシの配布や、各館のポスターの掲示を行い、また、大学の刊行物や講演会などの案内を県下の市町村立図書館へ送付した。

◆ 令和 6 年度刊行物

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| ① 令和 6 年度 年報 | 300 冊 (R6. 6. 1 発行) |
| ② 令和 7 年度図書館カレンダー | 40, 000 枚 (R7. 2. 1 発行) |
| ③ 阿波学会紀要 第65号 | 300 冊 (R7. 3. 1 発行:阿波学会) |

講師の派遣

月 日	会 場	講座内容等	派遣職員	参加者数
7月3日	21世紀館 情報文化実習室	シルバー大学院歴史文化講座 県立図書館調べもの講座	田村加代・今井順子 宇山博子・山本みち 溝渕真子	15
8月5日	徳島市立沖洲小学校	徳島市・名東郡図書館教育 部会夏季研修会	松原美和	28
8月8日	徳島県立図書館	学校図書委員研修会 「電子書籍活用講座」	中本好彦	50
8月23日	徳島県立阿波高等学校	読み聞かせ実践講習会	松原美和	23
9月21日	徳島県立図書館	四国大学オープンカレッジ 「博物館・図書館に見る日本の 歴史・徳島の歴史」	松原美和	9
10月1日	徳島県立障がい者 交流プラザ	点訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」	小松真幸・中本好彦	6
11月3日	イオンモール徳島	「第13回 いいお産の日」 (徳島県助産師会イベント) での読み聞かせ、絵本の展示	松原美和・北本直子	37
11月9日	阿南市立那賀川図書館	令和6年度第2回絵本講座	小松真幸・松原美和	15
11月12日	徳島県立障がい者 交流プラザ	音訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」	立石忠徳・葛谷沙也加	6

実習・研修

	実習・研修名	参加者	月 日	内 容
1	1Dayサマー チャレンジ	徳島大学 1 名	9 月 4 日	・図書館の役割・業務の学習 ・資料の受入、整理 ・レファレンス体験
2	フレッシュ研修 企業等研修	新任教員(阿南光高等学校、 富岡西高等学校、小松島西 高等学校勝浦校) 4 名	10月16日・17日	
3	インターンシップ	入田中学校 4 名	5 月30日・31日	
4	インターンシップ	脇町高等学校 2 名	8 月15日・16日	
5	インターンシップ	徳島市立高等学校 1 名	8 月16日	
6	インターンシップ	板野高等学校 2 名	8 月15日・16日	
7	図書館実習	島根県立大学 1 名	9 月12日～13日 9 月17日～20日	
8	インターンシップ	上八万中学校 3 名	10月 9 日・10日	
9	インターンシップ	那賀高等学校 1 名	11月14日・15日	

視察・見学

	組織名	月 日	参加者数	内 容
1	公明党滋賀県議 団	11月 7 日	1	・徳島県立図書館の概要について
2	千葉県教育庁教 育振興部生涯学 習課	12月20日	5	・デジタルアーカイブについて ・電子書籍について

学校教育との連携－学校の授業・遠足・見学等による図書館利用－

	学校名	月 日	内 容	参加人数
1	徳島文理小学校	4月26日	自由閲覧・おはなし会	109
2	美馬小学校	5月9日	自由閲覧・見学・おはなし会・質問コーナー	49
3	上八万小学校	5月17日	自由閲覧	107
4	明神小学校	5月24日	自由閲覧・見学・おはなし会	42
5	八万小学校	5月24日	自由閲覧	133
6	加茂名小学校	5月31日	自由閲覧	75
7	椿泊小学校	6月7日	自由閲覧・見学	13
8	国府支援学校高等部	9月6日	自由閲覧	20
9	国府小学校	10月4日	自由閲覧・見学・質問コーナー	137
10	北井上小学校	10月18日	見学・おはなし会・質問コーナー	20
11	佐那河内小学校	10月18日	自由閲覧・おはなし会	23
12	藍住東小学校	10月22日	見学・質問コーナー	60
13	千松小学校	10月24日	自由閲覧・見学	149
14	川内北小学校	10月25日	自由閲覧・見学	88
15	津田小学校	10月30日	自由閲覧・見学・質問コーナー	92
16	方上小学校	11月15日	自由閲覧・見学・おはなし会	52
17	上勝小学校	11月15日	自由閲覧・見学	10
18	川内南小学校	11月20日	見学	37
19	国府小学校特別支援学級	11月22日	自由閲覧・見学	37
20	八万南小学校	11月27日	自由閲覧・見学・質問コーナー	117
21	助任小学校	11月29日	自由閲覧・見学	159
22	ひのみね支援学校	11月29日	自由閲覧	8

計 1,537 名

参考：図書館資料充実費内訳（製本費等を除く）

網掛部分 単位：（円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
○ 調査・郷土担当					
(1) 逐次刊行物		7,310,625	7,490,659	7,455,796	7,650,838
	資料購入（備品費）費用	2,400,067	2,397,205	2,238,695	2,362,503
	点数	287	225	231	244
	資料購入（需用費）費用	4,910,558	5,093,454	5,217,101	5,288,335
	雑誌種数	277	277	270	270
	新聞紙数	32	31	31	29
	官報	1	1	1	1
(2) 参考資料（備品費）		3,520,429	2,917,521	3,578,822	5,221,454
	参考図書費用	3,450,405	2,815,552	3,508,474	5,080,523
	冊数	322	251	221	417
	特別集書費用	70,024	101,969	70,348	140,931
	冊数	22	27	19	46
(3) 郷土資料		1,392,171	2,000,349	1,244,866	1,263,369
	資料購入（備品費）費用	1,310,361	1,918,360	1,158,665	1,170,549
	図書冊数	451	472	461	522
	C D等点数	10	28	10	18
	資料購入（需用費）費用	81,810	81,989	86,201	92,820
	雑誌種数	3	3	3	3
	新聞紙数	1	1	1	1
○ 資料・児童担当					
(1) 貸出用図書（備品費）		17,582,815	17,758,671	17,993,650	16,365,553
	一般資料図書購入費	17,101,133	17,378,641	17,477,400	15,751,145
	冊数	8,131	8,137	8,203	7,092
	視聴覚資料購入費	481,682	380,030	516,250	614,408
	点数	82	82	79	135
(2) 児童関係資料		6,765,136	6,636,146	6,693,300	6,115,222
	資料購入（備品費）費用	6,471,942	6,347,964	6,403,276	5,819,872
	児童図書冊数	3,530	3,474	3,501	3,149
	紙芝居巻数	66	51	70	64
	C D等点数	0	0	15	0
	資料購入（需用費）費用	293,194	288,182	290,024	295,350
	雑誌種数	36	36	32	34
	新聞紙数	5	5	5	5
(3) 団体貸出用購入費		1,842,851	1,848,033	1,762,742	
	点数	159	146	167	
	図書購入費費合計	38,414,027	38,651,379	38,729,176	36,616,436
	図書購入費（備品費）	33,128,465	33,187,754	33,135,850	30,939,931

6 諸 統 計

○現有図書資料（令和7年3月31日現在）

〈単位：冊〉

区分 分類	館 内	館 外	こ ど も	計	前年度末現在
0：総 記	132,878	436	8,474	141,788	140,014
1：哲 学	63,430	758	2,401	66,589	66,274
2：歴 史	125,347	1,245	8,251	134,843	133,845
3：社会科学	334,073	1,561	13,099	348,733	347,231
4：自然科学	112,436	795	16,715	129,946	128,363
5：技 術	147,515	434	6,813	154,762	153,056
6：産 業	91,133	508	3,198	94,839	93,802
7：芸 術	144,601	731	19,020	164,352	162,845
8：言 語	25,225	193	3,135	28,553	28,374
9：文 学	246,491	9,087	52,962	308,540	309,888
童 話	9	565	14,185	14,759	15,228
絵 本	120	869	74,532	75,521	76,612
そ の 他	59,065	1,776	4,652	65,493	65,578
計（冊）	1,482,323	18,958	227,437	1,728,718	1,721,110

○電子書籍受入タイトル数と閲覧数（令和7年3月31日現在）＊累計H29～

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	累計
タイトル数	466	1,001	559	569	462	655	4,204
閲覧数	2,918	9,358	10,232	14,184	16,361	18,502	

○利用者登録者数

区 分	
年間館内登録者数	2,277人
昨年度末有効登録者数	*165,819
団 体 貸 出（団体）	4 団体
読 書 会 文 庫（団体）	8 団体

*貸出利用可能な登録者数を記載

○県外相互貸借(令和6年度)

		四国内	四国外	国会図書館	その他	計
貸出	件数	179	132		5	316
	冊数	312	188		6	506
借受	件数	45	34	0	1	80
	冊数	54	41	0	2	97

○図書貸出冊数（令和6年度）〈単位：冊〉

区 分		冊 数
個人貸出	図書	413,092
	洋書	1,340
	視聴覚資料	6,840
	逐次刊行物	24,473
	その他	2,111
	小 計	447,856
協力貸出	図書館・図書館未設置 町教育委員会	19,140
	県立学校	1,691
	小 計	20,831
団体貸出	団体貸出	537
	読書会文庫	779
	小 計	1,316
貸 出 総 数		470,003

○月別利用状況（令和6年度）

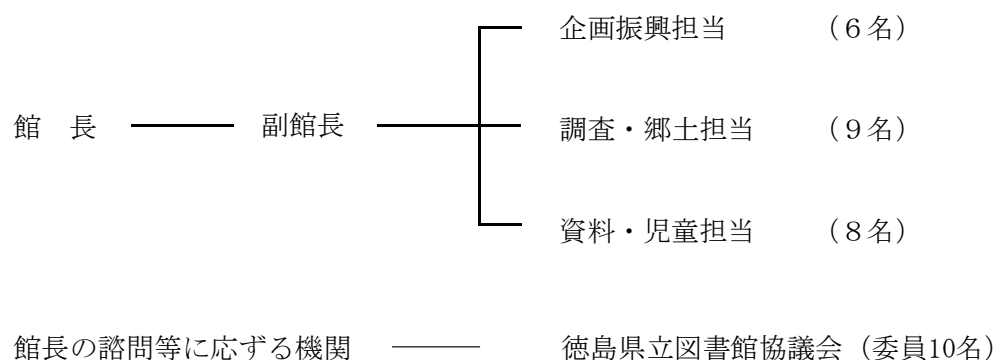
〈単位：日・人・冊・回〉

	開館 日数 (日)	登 録 者		貸 出 利 用 者		貸 出 冊 数		予約・リクエスト		参 考 質 問							
		月 計	日平均	月 計	日平均	月 計	日平均	月 計	日平均	口頭	電話	文書	メール	資料案内	月計	日平均	
4 月	24	211	9	13,132	547	41,080	1,712	2,828	118	29	12	1	9	625	676	28	
5 月	26	177	7	13,701	527	42,290	1,627	2,920	112	23	18	3	20	723	787	30	
6 月	25	185	7	13,953	558	44,334	1,773	3,136	125	23	14	1	13	663	714	29	
7 月	25	308	12	14,188	568	45,777	1,831	2,996	120	26	20	1	12	716	775	31	
8 月	25	356	14	14,838	594	46,520	1,861	2,628	105	30	14	2	7	896	949	38	
9 月	24	276	12	14,516	605	46,391	1,933	2,888	120	22	16	1	10	651	700	29	
10月	26	203	8	13,580	522	41,978	1,615	3,034	117	17	11	1	17	563	609	23	
11月	25	162	6	13,591	544	41,972	1,679	2,860	114	18	16	4	13	623	674	27	
12月	23	151	7	13,142	571	43,647	1,898	3,203	139	11	14	0	9	582	616	27	
1 月	8	43	5	2,995	374	7,821	978	1,150	144	5	2	1	8	263	279	35	
2 月	24	99	4	8,238	343	22,401	933	2,644	110	5	12	3	16	646	682	28	
3 月	26	106	4	8,285	319	23,645	909	2,950	113	12	10	5	6	587	620	24	
合計	281	2,277		144,159		447,856		33,237		221	159	23	140	7,538	8,081		
平均	24	190	8	12,013	513	37,321	1,594	2,770	118	18	13	2	12	628	673	28	

IV 管 理

1. 組織（令和7年4月現在）

（1）組織図



（2）職員構成

職名 所属	館長	副館長	課長 補佐	主査兼 係長	係長	主席	主任	主任 司書	司書	地方創 生推進 員	計
館長	1										1
副館長		1									1
企画振興担当			1 (1)		3 (3)	1		1 (1)			6 (5)
調査・郷土 担当			3 (3)			2 (2)	2 (2)	1 (1)	1 (1)		9 (9)
資料・児童 担当			1 (1)	1 (1)	1 (1)		3 (3)		1 (1)	1	8 (7)
計	1	1	5 (5)	1 (1)	4 (4)	3 (2)	5 (5)	2 (2)	2 (2)	1	25 (21)

※（ ）は、司書資格者数（内数）

2 施設・設備

建物の概要

- ◎ 建築面積 4,354.182㎡
- ◎ 延床面積 8,989.594㎡
- ◎ 構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上3階 塔屋2階
- ◎ 収蔵能力 約120万冊

<施設規模及び構成要素>

用途・分類	面積 (㎡)	用途・分類	面積 (㎡)
<開架スペース>	[4,085]	<管理スペース>	[1,393]
一般書架スペース	1,638	館長室	54
開架書架コーナー	1,305	事務室（整理作業室）	411
ブラウジング	243	コンピュータ室	48
対面朗読室	13	会議室	87
ワークルーム	22	スタッフルーング	60
カウンター	55	集会室（大）	122
こどもの本コーナー	566	集会室（小）	65
開架書架コーナー	502	集会準備室	25
おはなしコーナー	37	控室	24
児童資料室	27	団体貸出室	39
新聞雑誌コーナー	370	図書整理室	74
参考資料コーナー	427	サービスヤード	122
開架書架コーナー	404	展示ロビー	82
研究室	23	応接室	35
郷土資料コーナー	422	警備員室	22
開架書架コーナー	355	更衣室(2)	22
デジタルライブラリー室	27	湯沸室(2)	17
研究室	23	倉庫(2)	84
撮影室	17		
エントランスホール	204	<機械・設備スペース>	[693]
ロッカーコーナー	69	機械室(5)	575
その他	389	電気室	92
<収蔵スペース>	[1,843]	ハロンガスボンベ室	26
館内書庫	1,434	<その他>	[975]
館外書庫	349	1階エントランス	225
貴重書庫	60	その他	750
* 書庫は積層式になっているため、実質 3,626㎡ある。			

3 沿 革

年 月 日	事 項
大正 5 年 7 月 24 日	大正天皇即位記念として創立。徳島県立光慶図書館と称する。
大正 6 年 6 月 24 日	開館式を挙げる。
昭和 20 年 7 月 4 日	戦災により焼失する。
昭和 24 年 5 月 3 日	徳島県立光慶図書館を再建し、憲法記念館と称する。
昭和 25 年 3 月 13 日	火災により焼失する。
昭和 25 年 7 月 25 日	移動図書館車「文化バス」が巡回を開始し、館外奉仕活動始める。
昭和 25 年 12 月 1 日	図書館法により、徳島県立図書館と称する。
昭和 28 年 11 月 3 日	館舎を再建し、館内奉仕活動始める。
昭和 30 年 4 月 1 日	「文化バス」を「やまなみ号」と改称する。
昭和 37 年 3 月 18 日	移動図書館車「やまなみ 2 号」を増車、やまなみ 1 号・2 号となる。
昭和 41 年 7 月 24 日	創立 50 周年記念式典を挙げる。
昭和 43 年 4 月 1 日	徳島県憲法記念館規則が廃止され、徳島県立図書館規則が定められた。 会計規則の一部改正により、憲法記念館から県立図書館に改名された。
昭和 45 年 3 月 31 日	徳島県立図書館規則が廃止され、徳島県立図書館管理規則が定められた。
昭和 51 年 7 月 14 日	移動図書館車を廃車し、配本車「やまなみ 2 号」を新設する。
昭和 52 年 7 月 28 日	創立 60 周年記念大会を挙げる。
昭和 55 年 1 月 7 日	知事が、図書館、博物館の改築、美術館の建設を中核とした「文化の森」構想を発表する。
昭和 57 年 3 月 23 日	文化の森の建設が、徳島市八万町向寺山に決定された。
昭和 59 年 5 月 9 日	図書館基本構想検討委員会が発足する。
昭和 61 年 3 月 10 日	文化の森各文化施設の基本設計が完了する。
昭和 62 年 3 月 10 日	文化の森各文化施設の実施設計が完了する。
昭和 62 年 6 月 25 日	創立 70 周年記念講演会を挙げる。
昭和 62 年 7 月 14 日	文化の森各文化施設の建設工事に着手する。
昭和 63 年 2 月 1 日	協力車「やまなみ」を新設する。(移動図書館事業の廃止による。)
平成元年 10 月 31 日	文化の森図書館棟の本体工事が竣工する。
平成 2 年 4 月 1 日	文化の森図書館へ移転のため休館する。
平成 2 年 11 月 3 日	文化の森図書館として新築開館する。
平成 7 年 10 月 17 日	文化の森開園 5 周年記念事業「ベストセラーでみる戦後展」を開催する。
平成 12 年 10 月 20 日	文化の森開園 10 周年記念「世紀末大博覧会」を 5 館共同で開催する。 図書館は、「海野十三の描いた未来」を担当する。
平成 17 年 10 月 22 日	文化の森開園 15 周年記念企画展「ふるさと再発見ー 15 の人・もの・場所」を 5 館共同で開催する。図書館は、「岡本韋庵」の展示等を担当する。
平成 22 年 2 月 16 日	文化の森に移転後、来館者一千万人を達成する。
平成 22 年 11 月 23 日	文化の森開園 20 周年記念展「軌跡」と記念行事「文化の森大秋祭り！」を 5 館共同で開催、おはなし会と阿波学会ワークショップ等を担当する。
平成 23 年 4 月 1 日	貸出カウンターの業務委託を行う。
平成 27 年 9 月 18 日	文化の森開園 25 周年記念事業を「ヒトガタをめぐる冒険」を 6 館共通テーマとして実施。図書館は企画展「ひとが思い描いたヒト」、「アニメその歴史と未来」展を開催する。
平成 29 年 11 月 5 日	創立 100 周年記念式典・講演会を挙げる。
平成 30 年 4 月 23 日	子供の読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰を受賞する。
令和 2 年 4 月 1 日	教育委員会より知事部局(未来創生文化部)に移管。
11 月 3 日	文化の森開園 30 周年記念共同企画展「文化遺産を後世に伝える とくしまデジタルアーカイブ」を各館共同で開催、旧館時代のレコード等を展示。
令和 3 年 7 月 10 日	文化の森に移転後、来館者 1500 万人を達成する。
令和 7 年 1 月 23 日	改修工事のため部分開館開始。

4 歴代館長

就任年月日						館長				館長事務取扱				
大正	5	年	7	月	26	日	岩瀬	龜之進	進	県内務部長	広瀬直幹	瀬井光政	恒四郎進	
大正	5	年	11	月	6	日				県内務部長	亀林確			
大正	6	年	3	月	31	日				県学務課長	野瀬千			
大正	6	年	10	月	10	日				県学務課長	岩瀬			
大正	10	年	3	月	17	日				司				
大正	10	年	3	月	31	日								
大正	13	年	12	月	6	日				県学務課長	鈴木		吾吉郎一	
大正	13	年	12	月	20	日				県内務部長	小島			
大正	14	年	1	月	9	日				県学務課長	松本			
大正	15	年	8	月	26	日				県社会教育主事	栖崎			
昭和	2	年	2	月	14	日	坂今	本田	章好	三太		好田	菊武	
昭和	13	年	9	月	22	日								
昭和	19	年	3	月	22	日	大岡原蒲藤上竹喜高石近岩岸芝山日中武米大小福松今桐早	谷島田池居原田田井堂藤佐	幹幹武正信浩俊泰静廣俊健	男雄夫夫雄一一臣雄光夫二司裕之二巖正二宏昭治清聰春一	三冲	夫雄		
昭和	19	年	4	月	25	日								
昭和	19	年	6	月	6	日								
昭和	20	年	4	月	26	日								
昭和	22	年	8	月	31	日								
昭和	24	年	5	月	3	日								
昭和	37	年	4	月	1	日								
昭和	38	年	4	月	1	日								
昭和	44	年	4	月	1	日								
昭和	50	年	4	月	1	日								
昭和	52	年	4	月	1	日								
昭和	54	年	4	月	1	日								
昭和	56	年	4	月	1	日								
昭和	58	年	4	月	1	日								
昭和	61	年	4	月	1	日								
昭和	63	年	4	月	1	日								
平成	2	年	4	月	1	日	下野川市澤平田島平崎本見	正博精	靖明隆啓	義憲	誠樹良章行学	阿部修三		
平成	5	年	4	月	1	日								
平成	7	年	4	月	1	日								
平成	8	年	4	月	1	日								
平成	10	年	4	月	1	日								
平成	11	年	4	月	1	日								
平成	13	年	4	月	1	日								
平成	14	年	4	月	1	日								
平成	15	年	4	月	1	日								
平成	16	年	4	月	1	日								
平成	17	年	4	月	1	日	桑上中林青吉	秀忠善志	正豊由	明博治佳隆治之	中瀬敬一			
平成	18	年	4	月	1	日								
平成	19	年	4	月	1	日								
平成	19	年	5	月	1	日								
平成	20	年	4	月	1	日								
平成	21	年	4	月	1	日								
平成	22	年	4	月	1	日								
平成	24	年	4	月	1	日								
平成	25	年	4	月	1	日								
平成	27	年	4	月	1	日								
平成	27	年	5	月	1	日	榎松町野藤小露	正豊由	敬悦					
平成	28	年	4	月	1	日								
平成	29	年	4	月	1	日								
令和	元	年	5	月	1	日	々							
令和	3	年	4	月	1	日								
令和	4	年	4	月	1	日								
令和	5	年	6	月	1	日								

V 令和 6 年度 行事 記録

1 集会 行事

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人数
4 月 19 日	徳島県公共図書館協議会理事会	理事	令和 5 年度決算、令和 6 年度計画について	21
4 月 20 日	レコード鑑賞会：フォーク & カントリー	イベント広報委員会	「青春のフォーク & カントリー名曲集」	8
4 月 27 日	令和 5・6 年度阿波学会佐那河内村総合学術調査中間発表会 (佐那河内村役場 村民ホール)	佐那河内村関係者 各班代表者 一般参加者	総合学術調査の中間発表 (地質班、鳥類班、社寺建築班、考古班、地方史班)	50
4 月 27 日 ～ 5 月 27 日	令和 6 年度阿波学会学術調査	各班調査員	佐那河内村内学術調査	37
5 月 18 日	レコード鑑賞会：ベートーヴェン「交響曲第 7 番」	イベント広報委員会	「交響曲第 7 番」	10
5 月 29 日	阿波学会理事会・評議員会	阿波学会役員	令和 5 年度決算、令和 6 年度計画、70 周年記念事業について	27
5 月 31 日	徳島県読書振興協議会正副会長会	正副会長	令和 5 年度読書振興大会、理事会・総会について	9
6 月 1 日	初めてのの方のための読み聞かせ講座	講師： 渡邊 美恵 氏	絵本の読み聞かせについての講義とワークショップ	21
6 月 15 日	レコード鑑賞会：レイ・チャールズ	イベント広報委員会	「RAY CHARLES GREATEST HITS」	3
6 月 25 日	徳島県読書振興協議会総会・ブロック会	理事・会員	令和 5 年度決算、令和 6 年度計画、研修・意見交換会	33
7 月 12 日	第 1 回 徳島県図書館職員研修会	講師： 星 裕美 湯地 由美 氏	講義：「とくしまネットワーク図書館について」 講義：「児童文化財の魅力と演じ方」	39
7 月 20 日	レコード鑑賞会：唱歌	イベント広報委員会	「日本の歌唱 3 唱歌集 II」	6
7 月 23 日	阿波学会紀要編集委員会	阿波学会編集委員	「阿波学会紀要第 65 号」について	7
8 月 4 日	かんたん！読書感想文 本のえらび方・書き方	児童担当	本の選び方、読書感想文の書き方を説明	11
8 月 4 日	まなぼうさい教室	講師： 徳島県防災人材育成センター	地震が発生したときの対応講座、段ボールで防災いすの作成	10
8 月 11 日	図書館探検隊	児童担当	小学生対象。図書館の書庫や閲覧室などを案内	24

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人数
8月17日	レコード鑑賞会：ハワイアン	イベント広報委員会	「ハワイアン・ムード」	7
9月6日	徳島県読書振興協議会優良読書グループ選考会	会長・副会長	全国及び徳島県の優良読書グループ推薦団体を選考	6
9月6日	図書館協議会	協議会委員	令和5年度事業実績・6年度事業の実施状況について、第4期サービス向上目標について	19
9月13日	第2回 徳島県図書館職員研修会 (午前の部)兼令和6年度読書 バリアフリー推進事業 第1回 公立図書館等職員研修会	講師： 羽山 慎亮 氏 眞野 節雄 氏	講義：「図書館のソフト面でのバリアフリー」 講義：「災害から資料を守り、救うために」	56
9月14日	ティラノサウルスシリーズの 絵本作家 宮西達也先生 in 文化の森 (二十一世紀館共催) 会場：すだちくん森のシアター	宮西 達也 氏	絵本作家 宮西達也先生 による恐竜イラスト制作 実演・トークショー・読 み聞かせライブ・サイン 会	625
9月18日	徳島県公共図書館協議会 第1回研究・研修委員会	研究・研修委員	令和6年度図書館大会について	9
9月21日	レコード鑑賞会：ボサノバ	イベント広報委員会	「BOSSA NOVA BEST HITS」	8
9月22日	おはなし会スタッフミーティング	おはなし会ボランティア	令和6年度おはなし会実施状況について ほか	14
9月25日	図書館職員相互訪問研修	徳島大学附属図書館・鳴門教育 大学附属図書館 ・県立図書館職員	テーマ：「図書館システムの 運営と危機管理」	12
10月2日	阿波学会紀要編集委員会	阿波学会編集委員	「阿波学会紀要第65号」 について	12
10月16日	阿波学会紀要編集委員会	阿波学会編集委員	「阿波学会紀要第65号」 について	9
10月19日	レコード鑑賞会：カラヤン	イベント広報委員会	「カラヤン・ホーム・コンサート」	6
10月26日	徳島県読書振興大会 (神山町大会) (神山町農村環境改善センター)	神山町教育委員会 ほか	大会テーマ 「読書が楽しめる町をめ ざして」	45
11月15日	協力業務実務担当者会	市町村図書館職員 ほか	県立図書館大規模改修工 事にともなう協力貸出・ 県内相互貸借の変更点に ついてなど	28
11月16日	レコード鑑賞会：ナット・キング ・コール	イベント広報委員会	「ベスト・オブ・ナット ・キング・コール」	8
11月23日	えいごのおはなし会	鈴江 晶子 氏	英語による、大型絵本・ 絵本の読み聞かせ、手遊 び	30

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人数
11月24日	防災講座「地震の仕組みを知って備える」	徳島地方気象台 気象情報官 岡崎 賢治 氏	地震発生仕組み、地震・津波情報の解説、地震説明器などによる実験など	17
11月28日	第3回 徳島県図書館職員研修会	講師： 福井 千衣 氏 廣澤 貴理子 氏	講義：「児童書の調べ方」 講義：「子どもの心に本をとどける読書のアニメーション」	51
11月30日	セカンドライフ応援講座 「豊かな老後のために知っておきたいお金の話」	講師：J-FLEC 認定アドバイザー 徳岡 宏一 氏	図書館利用者の多くを占めるシニア層を対象に、相続や終活について講演	21
12月3日	阿波学会紀要編集委員会	阿波学会編集委員	「阿波学会紀要第65号」について	7
12月15日	クリスマスおはなし会	四国大学幼児教育研究室	うた、絵本の読み聞かせ、工作など	22
12月4日 ～10日	文化の森人権啓発展 (文化の森6館共催) 会場：近代美術館ギャラリー		県立図書館所蔵の人権関係資料・識字関係資料を展示	357
12月21日	レコード鑑賞会：クインシー・ジョーンズ	イベント広報委員会	「アイ・ディグ・ダンサーズ」	7
2月11日	えいごのおはなし会	ライリー・ヒンキー 氏	英語による絵本の読み聞かせ	67
2月13日	徳島県図書館大会 (二十一世紀館イベントホール)	講師： 下吹越 かおる 氏	講義：「図書館はまちの宝だから」	58
2月9日	子どもの読書研修会・おはなし会ボランティア研修会	講師： 構 大樹 氏	講義：「宮沢賢治にとまどうーたどたどしく読み深める「注文の多い料理店」」	21
2月9日	おはなし会スタッフミーティング	おはなし会ボランティア	令和7年度おはなし会実施予定について ほか	14
2月21日	徳島県公共図書館協議会 第2回研究・研修委員会	研究・研修委員	令和7年度徳島県図書館職員研修会・図書館大会について	9
3月22日	令和5・6年度阿波学会佐那河内村総合学術調査最終報告会 (佐那河内村役場 村民ホール)	佐那河内村関係者 各班代表者 一般参加者	総合学術調査の最終報告 (植物相班、埋蔵文化財班、民俗班、方言班、地理班、災害・防災班)	82

2 共催集行事

(1) まなびの森講演会（年12回：放送大学徳島学習センターと共催）

平成21年3月に「まなびの森」事業（生涯学習支援事業）開設のための協定書を放送大学徳島学習センターと締結、令和5年6月に150回目を迎えた。

期 日	講 演	講 師	内 容 等	人 数
4月20日	『源氏物語』への招待	田中 智子 氏	『源氏物語』の読み解き方について	37
5月18日	ベートーヴェン『第九』 世界初演200周年に寄せて	石川 榮作 氏	世界初演200周年を迎えた『第九』 について	28
6月15日	林業と自然環境防災について	品岡 武人 氏	林業の自然環境保全への寄与と重要性 について	29
7月20日	音を楽しむーにほんのおとー	川内 由子 氏	日本のうたを通して、音楽の美しさ と音楽の価値について	24
8月17日	宮沢賢治が目指したことと、 実現したことー『注文の多い料理店』 を読み直すー	構 大樹 氏	『注文の多い料理店』の時代状況と 現代の視点について	37
9月21日	災害時の健康管理	山下留理子氏	災害時の健康管理について	19
10月19日	「音楽で広がる創造の世界」 ～STEAM教育における「ART」の役割～	英 美生氏	クラシック音楽の表現方法とSTEAM 教育の重要性について	24
11月16日	徳島方言の歴史・現在・ 将来	村上 敬一氏	徳島方言の変遷と現状、将来につい て	23
12月21日	書くことと南方熊楠	平川恵実子氏	南方熊楠について	39
1月25日	カズオ・イシグロの世界 ー『日の名残り』を味わうー	阿部 曜子氏	カズオ・イシグロの代表作『日の名 残り』について	32
2月15日	非行少年の現在	渡邊 悟氏	非行少年の量的・質的变化と現代青 少年の心のあり様について	16
3月15日	人口減少社会における地 域づくりのマネジメント	森田 棕也氏	人口減少社会でのこれからの地域づ くりやそれに関わる人たちについて	23

計 331

(2) ワークショップ（JICA徳島デスクと共催）

期 日	行 事 名	内 容 等	人 数
7月27日	夏休み「世界ワークショ ップまつり」	海外の絵本の読み聞かせ、世界の国や遊びの紹介、 物作りのワークショップ。	133

(3) 阿波学会発足70周年記念事業

令和6年12月で阿波学会が発足70周年を迎えることを記念し、連続講座、図書館ギャラリー展示、記念式典・公開講演会を開催した。

期 日	講 演	講 師	内 容 等	人数
9月7日	発足70周年記念連続講座 第1回	地方史班	史料が語る徳島の歴史	15
9月14日	発足70周年記念連続講座 第2回	民家班	鳴門の増田建築とアーカイブス	9
9月28日	発足70周年記念連続講座 第3回	地質班	徳島県の地質と災害	15
10月5日	発足70周年記念連続講座 第4回	植物相班	徳島の魅力的な植物たち	32
10月12日	発足70周年記念連続講座 第5回	地理班	徳島県におけるすだち産地の形成	19
10月26日	発足70周年記念連続講座 第6回	鳥類班	秋の里山の野鳥を観察してみませんか	4
11月2日	発足70周年記念連続講座 第7回	埋蔵文化財班	佐那河内村内の遺跡踏査成果および 徳島山間部の先史時代調査	20
11月9日	発足70周年記念連続講座 第8回	方言班	私たちは、なぜ方言を調査・採集するの のか	16
11月23日	発足70周年記念連続講座 第9回	考古班	阿波型板碑の解明	18
11月30日	発足70周年記念連続講座 第10回	社寺建築班	身近な社寺建築の見方・調べ方	15
12月14日	発足70周年記念公開講演 会（徳島大学常三島けや きホール）	講師： 木下 覺 氏	徳島県の地域フロラ調査と希少植物 の保全 ― 阿波学会参加54年間の 追想	69

3 展 示 事 業

期 間	展 示 名	展 示 内 容
4月9日 ～ 5月12日	「どうも、県立図書館です！」	県立図書館のさまざまなサービスを紹介。
5月14日 ～ 7月15日	「図書館で調べる－レファレンス事例集－」	実際に県立図書館に寄せられたレファレンスの事例を紹介。
7月17日 ～ 9月16日	「図書委員委員が選ぶ、旅する本」	県内高等学校の図書委員が、旅に関するお気に入りの1冊を紹介。
9月18日 ～ 10月20日	「阿波学会70年の歩み」	発足70周年の阿波学会の刊行物の展示や所属団体の紹介。
10月22日 ～ 12月28日	「むかしばなしで世界を旅しよう！」	世界の昔話を、パネルと図書等で紹介。おはなし会で、昔話の読み聞かせを行った。

交換展示 企画展示「ようこそ新紙幣」展

令和6年10月1日～11月15日

徳島大学附属図書館

令和6年12月26日～令和7年2月4日

鳴門教育大学附属図書館

4 他機関主催・連携展示

期 間	展 示 名 (主 催)	展 示 内 容	場 所
4月1日～ 3月31日	木のおもちゃ美術館ミニ図書館、電子書籍紹介コーナー (林業振興課)	県立図書館の団体貸出用図書を活用したミニ図書館の設置、電子書籍閲覧サービスを書影を用いて紹介。	木のおもちゃ美術館
7月9日～ 8月4日	「徳島県男女協調月間<ときわプラザ紹介展>」(ときわプラザ)	「ときわプラザ(徳島県立男女共同参画総合支援センター)」の活動の紹介、関連書籍の展示。	2階一般資料コーナー
9月3日～ 9月16日	「認知症普及・啓発推進月間」パネル展(県保健福祉部長寿いきがい課)	認知症に関する正しい知識と理解を普及啓発のためのパネル、関連資料を展示。	2階セカンドライフ応援コーナー、1階南側
9月27日～ 10月25日	労働問題関連資料展示パネル展 (県労働委員会事務局調整課)	「個別労働紛争処理制度」周知月間に合わせ、職場環境や雇用条件、ハラスメントや働く人のメンタルヘルスなど、職場のトラブル解決に関する資料、パネル、県立図書館の関連資料を展示。	2階一般資料コーナー、1階南側
11月7日～ 11月24日	とくしま共に生きるフェスタ2024連携展示(あいぼーと徳島)	11月24日開催の「とくしま共に生きるフェスタ2024」に合わせ、いじめやハンセン病を中心とした人権に関する資料を展示。	2階ブラウジングコーナー

令和6年度 ミニ展示

ミニ展示コーナー（検索コーナー横）

期間	テーマ
3/26～4/17	新年度を「新書」で！
4/19～5/19	安部公房生誕100年
5/21～7/7	本に相談、身の上相談
7/9～8/4	徳島県男女協調月間（ときわプラザ紹介）
8/6～8/25	夏休み大人も勉強！数学・理科をもう一度！
8/27～9/26	自然災害に備えよう！
9/27～10/25	徳島県労働委員会との共催展示
10/25～11/24	ストップ！糖尿病（ダイアベティス）
11/26～12/28	新年を「新書」で！

ブラウジングコーナー

期間	テーマ
4/17～4/29	追悼・宗田理
5/2～5/15	追悼・星野富弘
7/2～7/31	藍推進月間
7/17～8/25	マナーアップ啓発「本が泣いています」
11/7～11/24	とくしま共に生きるフェスタ2024連携展示
11/9～11/28	徳島地方気象台パネル展 地震・防災
11/19～12/10	追悼・谷川俊太郎
12/11～12/28	料理とお菓子の本

セカンドライフ応援コーナー

期間	テーマ
3/5～4/29	いきいき脳の本棚
5/1～6/30	セカンドライフをいきいき過ごすヒント
7/2～9/1	今年、喜寿を迎える作家 ビートたけし（北野武）さん・藤原緋沙子さん
9/3～10/27	認知症を知る（長寿いきがい課と共催）
10/29～12/28	孫を育てる孫と遊ぶ

ブックトラックによるミニ展示

期間	テーマ
4/2～5/26	4月30日は図書館記念日 5月は図書館振興月間
6/11～8/8	梅雨・台風の備えを忘れずに
8/10～9/30	夏の衣・食・遊
10/1～12/5	秋の味覚
12/6～12/28	年末年始大特集

しごと応援コーナー

期間	テーマ
3/5～5/6	新人さんいらっしゃい
5/8～6/30	ビジネスマナーと敬語の本
7/2～9/1	夏のお仕事
9/3～11/3	起業の防災とBCP
11/6～12/28	ビジネステクノロジーの未来へ

郷土資料コーナー

期間	テーマ
3/22～5/15	活躍する徳島県人-2023年の出版物より-
5/17～7/7	花を楽しむ
7/9～9/1	調べよう！徳島県
9/3～10/16	徳島ゆかりの絵本作品
10/18～11/24	寂聴さんの源氏物語
10/18～12/3	ガラス工芸の本-由水常雄氏による-
11/26～12/28	活躍する徳島県人-2024年の出版物より- 文学編

こどもの本コーナー

○児童・毎月の企画展示	
期間	テーマ
4月	のりもの
5月	おでかけ
6月	たべもの
7月	天気
8月	夏
9月	秋
10月	ハロウィン
11月	冬
12月	クリスマス
○児童・ミニ展示	
期間	テーマ
4/9～4/20	さとうわきこさん
4/16～4/29	本のあるところ
4/16～4/29	学校ってどんなところ？
5/1～5/26	SDGsって？
5/1～6/2	おはなし美術館
5/28～6/23	あたらしい えほん
6/4～7/7	星
6/11～7/11	エルマーのぼうけん ルース・スタイルス・ガネットさん
6/25～7/25	本で世界を旅しよう！
7/9～8/31	夏休み 宿題できた！
7/26～8/18	フランス+オリンピック・パラリンピック
8/1～8/30	せんそう
8/20～9/16	恐竜やってきた！
8/20～9/16	みやにしたつやさん
9/1～9/29	ねずみくんおめでとう！ ～50周年～
9/18～10/20	ほっこりと
10/1～10/31	つくって！たべて！
10/22～12/28	むかしばなしで世界を旅しよう！
10/18～11/17	なかがわりえこさん
10/29～11/17	せなけいこさん
11/1～11/24	〇〇部！
11/19～12/5	たにかわしゅんたろうさん
11/26～12/28	おしょうがつまであとすこし
12/6～12/28	この本よんで！
12/17～12/28	生命保険協会徳島県協会様・徳島県に働く生保の仲間様からの御寄贈

Ⅵ 大規模改修工事と部分開館

徳島県立図書館は、平成2年11月3日に文化の森総合公園へ移転開館後、34年が経過し、経年劣化による雨漏りの発生や、外壁等の危険箇所補修に対応するため、令和6年度から7年度にかけて大規模改修（長寿命化）工事が行われることとなった。

<工事の概要>

○工事内容

外部改修工事：外壁タイルの浮き・破損・亀裂の補修

屋上・テラス部分の防水シート施工 ほか

内部改修工事：2階閲覧室の天井及び床の全面張り替え

2階閲覧室の照明器具のLED化 ほか

○主な工程

令和6年10月下旬～ 仮設工事

令和6年11月～令和7年5月 外部改修工事

令和7年1月～6月 内部改修工事



これに伴い、下記の日程で臨時休館・部分開館を行うこととなった。

○臨時休館【令和7年1月5日（日）から1月22日（水）まで】

○部分開館【令和7年1月23日（木）から6月8日（日）まで】

開館時間：9時30分から17時まで

休館日：毎週月曜日（祝日に当たるときはその翌日）



(内部工事)

臨時休館期間中には、例年実施している特別整理（蔵書点検作業）を行うとともに、1月23日からの部分開館に向けての準備を行った。内部改修工事期間中は2階閲覧室は全面的に立ち入りできないため、図書館1階エントランスホールにブックトラックを並べ、新着資料や部分開館後に返却された資料等を配架し、利用者の方に自由に本を手にとっていただけるスペースを設置した。また、仮設のカウンターを設け、貸出・返却と資料検索等の簡易なレファレンス回答も行った。

新聞・雑誌については、隣接する二十一世紀館情報プラザに最新号を配架し、閲覧できる場所を設けた。

おはなし会やまなびの森講演会等のイベントについては、二十一世紀館ミーティングルームや博物館講座室を使用して行った。



(部分開館)

〈データで見る徳島県立図書館の現状〉

年度	R2	R3	R4	R5	R6	
開館日数	287	280	286	288	281	
入館者数	370,268	349,486	330,411	319,448	289,868	※累計16,186,936人 H17から平日火～金は 19:00まで開館
登録者数	2,790	2,777	2,476	2,751	2,277	
個人貸出冊数	547,149	546,190	514,990	511,626	447,856	
協力貸出冊数	22,075	25,181	24,977	23,585	19,140	※市町村立図書館等 への貸出（図書館未 設置は教育委員会 へ）
高等学校・支援学校図書 館協力貸出冊数	2,338	2,122	1,744	1,566	1,691	※県立学校図書館へ の貸出（利用校数）
	(27校)	(31校)	(27校)	(29校)	(30校)	
県外相互貸借冊数 （内、貸出冊数）	997	1,042	978	1,059	603	
	(783)	(840)	(797)	(868)	(506)	
リクエスト件数	38,836	35,562	35,117	34,877	33,237	
レファレンス件数	9,742	9,124	8,508	8,453	8,078	
蔵書冊数	1,200,260	1,203,465	1,200,060	1,175,717	1,206,334	※雑誌・視聴覚資料 を除く
購入図書冊数	13,306	12,968	12,783	12,873	11,534	※雑誌・視聴覚資料 を除く
雑誌購入種数	322	317	317	306	308	※官報1を含む
新聞購入種数	37	38	37	37	35	
資料充実費（千円） 内、図書購入費（千円）	39,500	39,500	39,500	39,500	37,404	※H29からは、「知の 拠点」事業を含む
	33,136	33,136	33,136	33,136	30,940	
人口1人当たり図書購入 費（円）	46	46	47	47	48	
人口1人当たり貸出冊数	1	1	1	1	1	
人口1人当たり蔵書冊数	2	2	2	2	2	
県人口	723,198	714,606	705,876	697,733	688,373	※県人口は、「徳島 県推計人口」当該年 度4月1日時点の推定 人口

徳島県内市町村立図書館一覧 2025

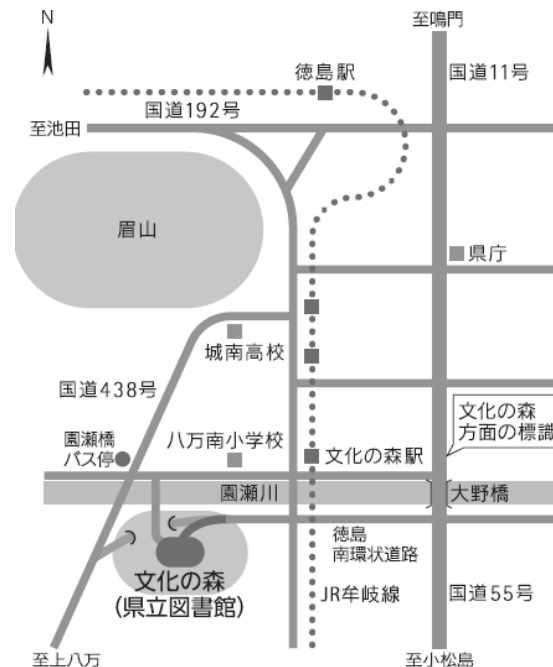
(横断検索可能館)



	図 書 館 名	住 所	電話番号 FAX番号	開館時間	休館日 (年末年始・特別整理期間以外)
1	徳島県立図書館	〒770-8070 徳島市八万町向寺山	088-668-3500 088-668-6904	9:30～19:00 土日祝 9:30～17:00	月曜・祝日の翌火曜 第3木曜
2	徳島市立図書館	〒770-0834 徳島市元町1-24 アミコビル5F6F	088-654-4421 088-654-4423	9:00～21:00	第1火曜
3	鳴門市立図書館	〒772-0011 鳴門市撫養町大桑島字蛭子山49	088-685-0255 088-686-6589	9:00～19:00	火曜・第1金曜
4	生涯学習センター 小松島市立図書館	〒773-0001 小松島市小松島町字新港29-11	0885-32-1100 0885-32-7188	9:30～18:00	月曜・第3金曜 祝日の翌日
5	阿南市立 那賀川図書館	〒779-1235 阿南市那賀川町苅屋308-1	0884-42-3111 0884-42-3299	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
6	羽ノ浦図書館	〒779-1101 阿南市羽ノ浦町中庄上ナカレ16-3	0884-44-2100 0884-44-2099	10:00～18:00	月曜・祝日の翌火曜 月末(土日月の時金曜)
7	吉野川市立 鴨島図書館	〒776-0010 吉野川市鴨島町鴨島252番地1	0883-22-2004 0883-22-2014	9:00～19:00	火曜 館内整理日
8	山川図書館	〒779-3404 吉野川市山川町北島19-7	0883-42-5222 0883-26-4101	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
9	川島図書館	〒779-3303 吉野川市川島町桑村883-1	0883-25-3141 0883-25-5382	10:00～18:00	水曜・祝日・月末
10	阿波市立 阿波図書館	〒771-1703 阿波市阿波町東原167-1	0883-35-5101 0883-35-5109	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
11	市場図書館	〒771-1602 阿波市市場町市場字上野段212-2	0883-36-6455 0883-36-6456	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
12	土成図書館	〒771-1506 阿波市土成町土成字漆畑220番地1	088-695-5385 088-695-5515	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
13	吉野笠井図書館	〒771-1402 阿波市吉野町西条字大内13	088-696-4686 088-696-5139	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
14	美馬市立図書館	〒779-3602 美馬市脇町大字猪尻字西分116番地1	0883-53-9666 0883-53-6190	9:00～19:00	火曜 第3木曜
15	三好市 中央図書館	〒778-0003 三好市池田町サラダ1836-1	0883-72-2781 0883-76-0514	10:00～19:00	水曜
16	井川図書館	〒779-4802 三好市井川町岡野前64	0883-78-4311 0883-78-4305	10:00～19:00	火曜
17	勝浦町図書館	〒771-4305 勝浦郡勝浦町大字久国字久保田2-1	0885-42-2300 0885-42-4900	9:30～18:00	月曜・月末
18	佐那河内村立図書館	〒771-4101 名東郡佐那河内村下字中辺71-1	088-679-2817 088-679-2173	9:00～12:00 13:00～17:00	土曜・日曜・祝日
19	那賀町木頭図書館	〒771-6403 那賀郡那賀町木頭和無田字マツギ40	0884-68-2226 0884-68-2566	10:30～18:00 土 10:30～17:00	第3月曜日
20	美波町日和佐図書 ・資料館	〒779-2305 海部郡美波町奥河内字弁才天5-1	0884-77-2733 0884-77-0845	10:00～18:00 土・日 10:00～17:00	月曜・祝日 祝日の翌火曜
21	牟岐町立図書館	〒775-0004 海部郡牟岐町大字川長字新光寺82	0884-72-2300 0884-72-3301	10:00～18:00	月曜・第3木曜 祝日
22	海陽町立 海南図書館	〒775-0202 海部郡海陽町四方原字旭町38-1	0884-73-3591 0884-73-3551	10:30～18:00	月曜・祝日・月末
23	穴喰図書館	〒775-0501 海部郡海陽町穴喰浦字穴喰375	0884-76-1030 0884-76-1040	10:30～18:00	月曜・祝日・月末
24	松茂町立図書館	〒771-0220 板野郡松茂町広島字四番越6-1	088-699-8722 088-699-8784	10:00～18:00	月曜・月末
25	北島町立図書館・ 創世ホール	〒771-0207 板野郡北島町新喜来字南古田91	088-698-1100 088-698-1180	10:00～18:00	月曜・第3木曜 祝日(土日の時は開館)
26	藍住町立図書館	〒771-1202 板野郡藍住町奥野字猪熊175-2	088-692-0070 088-692-0170	10:00～18:00	月曜・祝日 第3木曜
27	板野町文化の館 図書館	〒779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷13-1	088-672-5888 088-672-5999	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
28	東みよし町立図書館	〒779-4702 三好郡東みよし町西庄字横手51	0883-82-1150 同上	10:00～18:00(4-9月) 10:00～17:30(10-3月)	火曜・木曜 祝日・月末(土・日除く)

徳島県立図書館案内図

- J R 徳島駅から／徳島市営バス・徳島バス利用（約 25 分）
- J R 牟岐線文化の森駅から／徒歩（約 35 分） バス利用（7 分）



開館時間

- ・ 火曜日から金曜日まで 午前9時30分から午後7時まで
- ・ 土曜日、日曜日及び祝日（振替休日を含む。） 午前9時30分から午後5時まで

休館日

- ・ 月曜日
ただし、国民の祝日（振替休日含む）のときは、その後最も近い休日でない日
- ・ 毎月第3木曜日（国民の祝日にあたるときは、その翌日）
- ・ 年末年始（12月29日～1月4日）
- ・ 特別整理期間（年間10日間以内、例年1月下旬から2月上旬まで）
- ・ 臨時休館日

徳島県立図書館サービス向上目標(第4期)

～新たな環境下の県立図書館サービス～

令和3年3月

徳島県立図書館では、サービス向上のための改善策や新たなサービスの展開を設定し、その実現に向けて努力していく指針として、平成18年度に「徳島県立図書館サービス向上目標～地域の情報拠点を目指して～」を策定し、以後5年ごとに改正を行い、サービス向上に取り組んできました。また、平成28年度からの第3期中には、開館百周年(平成29年)事業として「とくしま電子図書館」を構築するとともに、子どもの本の充実等を行いました。一方、令和2年に広がった新型コロナウイルスは、感染防止のため人との接触を減らすことを余儀なくさせ、一時期図書館が全国的に休館または部分開館せざるを得なくなりました。こうして第4期目標策定では、改めて図書館の役割を再考することになりましたが、新たな環境下においても、引き続きしっかりと県民の様々な「知りたい」に応え続けていくことを目指し、電子書籍やリモートといった非来館型のサービスも駆使しながら、努力と工夫を重ねていくことといたします。

県立図書館の役割・運営方針

徳島県の図書館ネットワークの中核として、全ての地域の県民のニーズや課題に生涯を通して応えていくとともに、県全体としての図書館サービスの向上を図ります。

目指す図書館の姿

人と資料とをつなぐ図書館

- すべての地域の県民への資料提供
- 「とくしまネットワーク図書館」の充実
- 県内市町村立図書館等への支援
- 他機関・団体との連携協力

探究する人をサポートする図書館

- レファレンス機能の強化
- 使いやすいレファレンス・ツールの提供
- 他機関と連携したレファレンス
- 仕事や暮らしの課題解決を支援

徳島を知って、未来を創る人の図書館

- 郷土資料の収集・保存・活用・発信
- 郷土関係レファレンス・ツールの強化
- 徳島に関する調査研究推進
- 地域の課題解決を支援

読書を愉しみ心を育む人の図書館

- 多様な資料収集と紹介
- 子どもの本を網羅的に収集
- 子どもの読書環境整備と学校図書館との連携協力
- 読書バリアフリーへの取り組み

Ⅰ 人と資料とをつなぐ図書館

当館では昭和63年から市町村の図書館や教育委員会を巡回する協力車を運行し、県内公立図書館等への協力貸出や図書館間の相互貸借を行い、すべての県民が居住地にかかわらず同様な図書館サービスが利用できるよう図っています。さらに平成30年度から「電子書籍閲覧サービス」といった非来館型サービスを開始しており、今後も他の図書館等との協力やICTサービスの充実によりすべての地域の県民に図書館資料を提供していきます。

(1) すべての地域の県民への資料提供

すべての地域の県民への資料提供を行うため、昭和25年から移動図書館車「やまなみ号」を県下に巡回させ、市町村での図書館設置が進んできた昭和63年には、各図書館からの予約資料を運ぶ協力車に交代しました。これからも、全県民が利用できるサービスとして、市町村立図書館と図書館未設置の教育委員会への協力貸出を充実させるとともに、「電子書籍閲覧サービス」の普及と充実を図ります。

(2) 「とくしまネットワーク図書館」の充実

「とくしまネットワーク図書館」システムでは、利用者は県立図書館の本をインターネットで予約し、市町村立図書館を通して借りるとともに、各図書館は他館からの借り受けができます。今後も、「とくしまネットワーク図書館」システムを充実させることにより、すべての地域の県民が、より多くの図書館資料に出会い、利用できるよう図ります。

(3) 県内市町村立図書館等への支援

県内公共図書館の発展を図るため、市町村立図書館等との連携を深め、協力車等による図書館資料の搬送を維持します。また、図書館職員の資質・能力の向上を図るため、徳島県公共図書館協議会等において効果的な研修を実施します。さらに、非常時の図書館サービスの継続に向けた情報共有や検討を行います。

(4) 他機関・団体との連携協力

読書活動の振興を図るため、大学図書館および徳島県読書振興協議会等の読書ボランティア団体との連携・協力により、図書館の利用を促進します。

数値目標	
5冊以上／人・年	県内公共図書館の県民一人当たり貸出冊出
2万冊以上／年	市町村立図書館・未設置教育委員会・県立学校図書館への協力貸出冊数
40万人以上／年	入館者数

2 探究する人をサポートする図書館

当館のレファレンスでは、司書による調査・相談はもとより、各種データベースを備え、Webでは「調べものナビ」を公開し、事典や図鑑類は電子書籍でも提供しており、今後も、県民がこれらを十分活用して、深い探究を行えるよう、レファレンスの技能とツールの充実に努め、サポートしていきます。

(1) レファレンス機能の強化

社会の複雑多様化に対応した的確なレファレンスサービスを行うため、各図書館職員の研修に努め、様々な分野で最新の動向を把握し、得た知識を共有して専門性やレファレンス技能を向上させるとともに、新しい分野も含め、多種多様な資料を充実させていきます。

(2) 使いやすいレファレンス・ツールの提供

調べたい事項の解決に、利用者自身で、より多くの参考になる本や文献に出会うことができるよう、当館での調査・相談事例のデータベース化とWeb公開を推進するとともに、関心の高いテーマのパスファインダー（調べ方案内）やテーマ一覧を充実させます。また、これらに当館「資料詳細」ページへのリンクといった機能を付加し、Webでできる調べものを拡充します。

(3) 他機関と連携したレファレンス

レファレンス・サービスの質を高めるため、国立国会図書館の協力レファレンスをはじめ、県内外の図書館や専門機関と一層連携して、各館が備える機能を相互に活用します。

また、他機関と協力展示を行うことで新たな利用につなげたり、とりわけ文化の森に集まる博物館等の各施設とは、調査研究やコレクション、レファレンス事例といった情報を共有しながら、より専門的な内容に対応できるよう努めます。

(4) 仕事や暮らしの課題解決を支援

ライフステージの各場面に対応して設定した「しごと」、「子育て」、「セカンドライフ」、「医療・健康」のコーナーで、暮らしに役立つ様々な資料や情報を時宜に応じて選択・提供することで、問題解決を支援します。起業や経営を対象としている「ビジネス分野」については、各種年鑑・統計書やオンラインデータベースの活用を促進していきます。

数値目標	
200人以上／年	主催講演・講座参加者数
6,000タイトル以上／年	電子書籍閲覧件数
50件以上／年	レファレンス事例インターネット公開件数

3 徳島を知って、未来を創る人の図書館

都道府県立図書館には、その地域の郷土資料センター的役割があり、当館では歴史的資料から現在の地域社会を映す資料まで満遍なく収集・保存しています。今後も、県民がこれらを十分活用して徳島への理解を深め、歴史・文化の継承や、これからのよりよい地域社会づくりに取り組めるよう、資料を充実し、効果的に紹介して支援していきます。

(1) 郷土資料の収集・保存・活用・発信

徳島県や県出身者に関する資料をはじめ、行政資料、広報誌、地域情報誌等を網羅的に収集・保存します。また、Webのみで公開された資料の紙媒体での収集や電磁的記録も推進します。さらに、歴史的に貴重な資料はデジタル化してアーカイブで広く発信するなど、郷土資料を適切に保存・活用することで徳島の姿を明らかにし、県民の郷土への理解を高めます。

(2) 郷土関係レファレンス・ツールの強化

郷土についての調査研究は利用者の関心が高く、問い合わせが多い分野であるため、豊富なレファレンス事例が蓄積されています。これらの成果は、各司書が共有して調査相談業務の向上を図り、また、郷土関係の事項・人物情報とともにデータベース化し、Web公開を推進することにより、利用者自身で行う調査研究を容易にしていきます。

(3) 徳島に関する調査研究推進

地域に関する調査研究に対して、調査・相談や資料の提供を通じて活動を支援し、研究成果は当館で県民の利用に供するなど、学術文化の振興に努めます。

特に、60年以上の歴史がある「阿波学会」とは、2年ごとに1市町村ずつ実施する総合学術調査を共催し、その成果は地元市町村に還元するとともに、調査報告書を郷土資料として活用します。

(4) 地域の課題解決を支援

地域の課題解決に取り組む人や団体、行政機関に対して、積極的に資料の提供や調査・相談サービスを行い、その活動や業務を支援します。また、こうした活動等に協調して、資料展示や県政情報の提供を充実させるなど、より多くの県民が関心を高め、課題解決に関わっていきやすくなるよう啓発に努めます。

数値目標

3,000冊以上／年	郷土資料収集冊数
30件以上／年	行政支援サービス件数

4 読書を愉しみ心を育む人の図書館

当館は、蔵書が常に幅広く新鮮な構成となるよう、また、子どものときから読書に親しめることなどに留意して選書に努めてきました。これからも県民ひとりひとりの様々なニーズに応えられるよう多様なテーマの資料を収集するとともに、生涯を通じた「知る」「学ぶ」場として環境を整えることにより、県民の豊かな読書活動を応援します。

(1) 多様な資料収集と紹介

県民が読書そのものを愉しむとともに、それぞれが抱く興味関心に生涯を通じて応えていけるよう、豊富で多岐にわたる内容の資料を、図書・雑誌、視聴覚資料、電子書籍といった様々な形態で収集・提供します。

また、社会的なものや個人的なものを問わず、ありとあらゆる新たな読書テーマの発見につながる提案を行うために、多様なブックリストを作成してWebや資料展示で紹介したり、講演会といったイベントを行い、読書の喜びを高めます。

(2) 子どもの本を網羅的に収集

当館は、昭和40年代から子どもの読書推進のため、絵本・童話をはじめ事典やヤングアダルト向けの本、さらには児童書や児童文学者の研究書まで、すべての子どもの本を網羅的に収集した結果、子どもが楽しめるだけでなく、保護者や図書館・教育関係者等にも役立つ20万点に上る「子どもの本の資料センター」に成長しています。今後も引き続きこの役割を果たしていけるよう、年間児童書出版点数の8割以上の収集を目指していきます。

(3) 子どもの読書環境整備と学校図書館との連携協力

子どもたちが読書に親しむ環境をつくるために、おはなし会などの活動を行います。

また、読みたい本との出会いを増やすパスファインダーやブックリストを作成して、Webや資料展示で紹介します。

さらに、電子書籍を含む調べ学習用図書の充実や協力貸出、協力レファレンスにより学校図書館との連携を深め、自主的な読書活動を支援します。

(4) 読書バリアフリーへの取り組み

障がいの有無にかかわらず県民が読書活動を行えるよう、当館は大活字本や録音図書といった多様な資料の収集や、来館が困難な障がい者への郵送貸出サービスなどを行っています。令和元年に「読書バリアフリー法」も施行され、視覚障がい者等が利用しやすい図書等の一層の充実に努めるとともに、こうした資料やサービス、読書支援機器が十分活用されるよう、誰もがわかりやすい館内表示や、市町村立図書館を通じた広報を行います。

また、日本語が母語でない人の読書活動を支援するため、様々な言語による資料の収集に努めます。

数値目標	
70回以上／年	資料紹介展示回数
3,200冊以上／年	児童書の年間購入冊数
350点以上／年	読書バリアフリー資料収集点数

サービス向上目標（第4期）数値目標

図書館法に基づいた図書館評価を行うため、以下の項目を数値目標として掲げ、評価を行います。

評価判定用数値		令和元年度実績	令和2年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 人と資料をつなぐ	県内公共図書館の県民一人当たり貸出冊数	5	5	目標	5冊以上				
				実績	5	5	5	集計中	
	協力貸出冊数（含・学校図書館）	23,408	24,413	目標	2万冊以上				
				実績	27,303	26,721	25,151	20,831	
	入館者数	432,017	370,268	目標	40万人以上				
				実績	349,486	330,411	319,448	289,868	
② 知への探究	県立図書館主催講演会・講座への参加者数	218	403	目標	200人以上				
				実績	252	456	296	305	
	電子書籍閲覧件数	2,918	9,200	目標	6,000件以上				
				実績	10,232	14,184	16,361	18,502	
	レファレンス事例インターネット公開件数	66	129	目標	50件以上				
				実績	67	67	100	58	
③ 地域を知る	郷土資料収集冊数	3,429	3,250	目標	3,000冊以上				
				実績	3,513	3,031	4,634	3,963	
	行政支援サービスの実績	33	48	目標	30件以上				
				実績	49	20	30	27	
④ 読書を愉しむ	資料紹介展示回数	79	74	目標	70回以上				
				実績	90	84	91	73	
	児童書の年間購入冊数	3,770	3,564	目標	3,200冊				
				実績	3,445	3,385	3,419	3,096	
	読書バリアフリー収集点数	465	409	目標	350点以上				
				実績	397	396	350	429	

＊図書館法 第7条の3

（運営の状況に関する評価等）

図書館は、該当図書館の運営状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

徳島県立図書館 年 報 令和 7 年度版

発行日 令和 7 年 6 月 1 日

発行人 〒 770-8070
徳島市八万町向寺山
文化の森総合公園
徳島県立図書館
館長 露口 悦之
TEL (088)668-3500 (代)
FAX (088)668-6904
